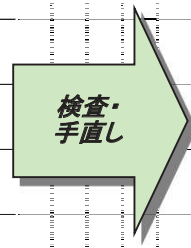


工事名称	(仮称)岡山理科大学 今治キャンパス 新築工事及び周辺工事												自 平成29年4月1日		作成 平成29年3月2日		承諾	作成	株式会社 大本組																													
													至 平成31年3月31日		訂正 平成29年3月21日																																	
工事概要	平成29年度																																															
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	10	20	28	10	20	31	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	31	10	20	28	10	20	31	10	20	30
準備工事	整地、測量、進入口																																															
仮設工事	仮設現場事務所																																															
管理棟	杭工事 基礎工事 土間工事 鉄骨工事 コンクリート工事 外壁工事 外構工事																																															
S造 4F	内装下地工事 内装仕上げ工事 検査・手直し 開校準備																																															
建1,580㎡ 延4,975㎡																																																
学部棟	基礎工事 土間工事 鉄骨工事 コンクリート工事 外壁工事 外構工事																																															
S造 7F	内装下地工事 内装仕上げ工事 検査・手直し 開校準備																																															
建2,652㎡ 延13,562㎡																																																
病院棟	基礎工事 土間工事 鉄骨工事 コンクリート工事 外壁工事 外構工事																																															
S造 4F	内装下地工事 内装仕上げ工事 検査・手直し 開校準備																																															
建1,951㎡ 延7,610㎡																																																
その他付属棟	基礎工事 鉄骨工事 コンクリート工事 外壁工事 外構工事 検査・手直し 開校準備																																															
平成30年度																																																
工事概要	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	10	20	28	10	20	31	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	31	10	20	28	10	20	31	10	20	30
仮設工事	仮設現場事務所・仮囲																																															
大動物実習施設	基礎工事 鉄骨工事 コンクリート工事 外壁工事																																															
S造 1F	内装下地工事 内装仕上げ工事																																															
建1,259㎡ 延1,228㎡																																																
大講義棟	基礎工事 鉄骨工事 コンクリート工事 外壁工事																																															
S造 2F	内装下地工事 内装仕上げ工事																																															
建 516㎡ 延 717㎡																																																
放射線治療室	基礎工事 コンクリート工事 鉄骨工事 外壁工事																																															
	内装下地工事 内装仕上げ工事 検査 調整 開校準備																																															
備考	(工程作成上の諸条件、作業制限等を記入)																																															

工 事 名 称		工 期		建 築 概 要				作 成						
		着工	平成 29 年 4 月 上 旬	構 造	鉄骨造2階建て	敷地面積 95,804.96 m ²	延床面積 3,377.02 m ²	平成 29 年 2 月 27 日	アイサワ工業株式会社					
(仮称)岡山理科大学 獣医学部 今治キャンパス新築工事及び周辺工事【C敷地・D敷地】		竣工	平成 30 年 2 月 下 旬							敷地面積	延床面積			
年 月	工 種 名	平成29年						平成30年						
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	全体工期→		▲ 着工											▲ 竣工
			1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	
			3/28 起工式											
	仮設工事		▼ 3/6 仮設電力引込柱建柱 準備工事											
	体育館		土工・基礎躯体工		鉄骨・躯体工		屋根・外装工		内装仕上工					
			65tクローラークレーン(36mタワー+31mジブ)常駐期間											
	クラブハウス		土工・基礎躯体工		鉄骨・躯体工		屋根・外装工		内装仕上工					
	D敷地 外構 (ゴミ置場共)											D敷地 外構 グランド整備工(≒2.0ヶ月)		
	C敷地 外構											C敷地 外構		



獣医学科 授業時間割

① (春1)		獣医学科 授業時間割																	
		1年			2年		3年		4年		5年			6年					
		1組	2組	3組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	ライフ	公共	医獣連携	ライフ	公共	医獣連携			
月曜日	1	9:10	10:40	化学 (儀・A0229)			情報リテラシー (菅又・PC室 A0245)	教養教育科目		動物行動学 (岩田・A0235)		教養教育科目		総合参加型臨床実習 (北川、松山、村上、星、山添、岡村、山田、松田、杉山、小林、中嶋、伊藤、前田、下川、神田、稲葉、三井、杉本、佐伯、望月、久楽、三河、新井、糸井、小野、森田、宇根、片山・獣医学教育病院/NOSAI)			○国際獣医法医学 (柳井、宇根、三井・A0227)		
	2	10:55	12:25	生命科学 (村田・A0227)			獣医薬理学総論 (尾崎・A0233)				教養教育科目								
	3	13:15	14:45	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	(1、2、5、6週)		1組 (7、8週)	2組 (3、4週)	○飼料作物学 (磯部・A0223)								
	4	15:00	16:30	生命科学実習 (江藤、九郎丸、汾陽、水野、松井、村田、竹谷、片山、我妻、五十嵐、千葉、田中、向田、林、中村、太田・基礎実習室1 A0231)			獣医微生物学実習 (森川、柴原、渡辺、小野(文)、黒木、藤井、吉川、菅又、柳井、作道・1組: 獣医実習室1 A0241、2組: 獣医実習室2 A0242)		食品衛生学実習 (手島、菅又、吉川、松山、依田、我妻、足立、作道、黒木・獣医実習室3 A0243)										
	5	16:45	18:15																
火曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目			獣医病理学総論 (宇根・A0233)		環境衛生学 (菅又・A0235)		教養教育科目		総合参加型臨床実習 (北川、松山、村上、星、山添、岡村、山田、松田、杉山、小林、中嶋、伊藤、前田、下川、神田、稲葉、三井、杉本、佐伯、望月、久楽、三河、新井、糸井、小野、森田、宇根、片山・獣医学教育病院/NOSAI)						
	2	10:55	12:25	○生涯スポーツ (我妻・体育館) 他教養教育科目3科目			教養教育科目	情報リテラシー (菅又・PC室 A0245)	食品衛生学 (手島・A0235)		教養教育科目								
	3	13:15	14:45	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	(1、2、5、6週)		1組 (7、8週)	2組 (3、4週)									
	4	15:00	16:30	生命科学実習 (江藤、九郎丸、汾陽、水野、松井、村田、竹谷、片山、我妻、五十嵐、千葉、田中、向田、林、中村、太田・基礎実習室1 A0231)			獣医微生物学実習 (森川、柴原、渡辺、小野(文)、黒木、藤井、吉川、菅又、柳井、作道・1組: 獣医実習室1 A0241、2組: 獣医実習室2 A0242)		食品衛生学実習 (手島、菅又、吉川、松山、依田、我妻、足立、作道、黒木・獣医実習室3 A0243)							○検査・再生医療科学 (中嶋、山田、松井、伊藤、伊藤、糸井・A0227)			
	5	16:45	18:15																
水曜日	1	9:10	10:40	獣医分子生物学 (江藤・A0227)			情報リテラシー (菅又・PC室 A0245)	教養教育科目		食品衛生学 (手島・A0246)		獣医血液・免疫病学 (杉山・A0233)		総合参加型臨床実習 (北川、松山、村上、星、山添、岡村、山田、松田、杉山、小林、中嶋、伊藤、前田、下川、神田、稲葉、三井、杉本、佐伯、望月、久楽、三河、新井、糸井、小野、森田、宇根、片山・獣医学教育病院/NOSAI)					
	2	10:55	12:25	動物関連キャリア概論 (吉川、北川、小野(文)、菅又、手島、黒木、飯田、山田、榎林、儀、尾崎、柴原、宇根、水野、伊豆、片山、北村、畑・A0229)*					臨床検査学入門 (杉山・A0227)										
	3	13:15	14:45	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	(1、2、5、6週)		1組 (7、8週)	2組 (3、4週)	産業動物臨床学 (山田・A0246)								
	4	15:00	16:30	生命科学実習 (江藤、九郎丸、汾陽、水野、松井、村田、竹谷、片山、我妻、五十嵐、千葉、田中、向田、林、中村、太田・基礎実習室1 A0231)			獣医微生物学実習 (森川、柴原、渡辺、小野(文)、黒木、藤井、吉川、菅又、柳井、作道・1組: 獣医実習室1 A0241、2組: 獣医実習室2 A0242)		食品衛生学実習 (手島、菅又、吉川、松山、依田、我妻、足立、作道、黒木・獣医実習室3 A0243)										
	5	16:45	18:15																
木曜日	1	9:10	10:40	○現代人の科学C (吉川・A0223) 他教養教育1科目			獣医微生物学 (森川・渡辺・藤井・A0229)		○応用英語IA (田口・A0224、(非)藤高・A0225、(非)高橋・A0226、(非)松本・A0234)		教養教育科目・外国語教育科目		総合参加型臨床実習 (北川、松山、村上、星、山添、岡村、山田、松田、杉山、小林、中嶋、伊藤、前田、下川、神田、稲葉、三井、杉本、佐伯、望月、久楽、三河、新井、糸井、小野、森田、宇根、片山・獣医学教育病院/NOSAI)						
	2	10:55	12:25	○実用英語 (プレゼンテーション) (田口・A0223) ○実用英語 (アカデミックライティング) (カーティス・A0224)					○専門英語IA (江藤・A0225、伊豆・A0226、向田・A0234)		外国語教育科目								
	3	13:15	14:45	フレッシュマンセミナー (尾崎・A0229)			(1、2、5、6週)		1組 (7、8週)	2組 (3、4週)	科学倫理学 (中村(征)・A0227)					○獣医高度臨床学 (星、北川、中嶋、下川、佐伯、望月、小野(文)・A0221)			
	4	15:00	16:30	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	獣医微生物学実習 (森川、柴原、渡辺、小野(文)、黒木、藤井、吉川、菅又、柳井、作道・1組: 獣医実習室1 A0241、2組: 獣医実習室2 A0242)		食品衛生学実習 (手島、菅又、吉川、松山、依田、我妻、足立、作道、黒木・獣医実習室3 A0243)										
	5	16:45	18:15	生命科学実習 (担当・実習室同上)															
金曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目・外国語教育科目			○発信英語ⅢA (カーティス・A0228、(非)リヴェラ(マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺(メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)		教養教育科目・外国語教育科目		獣医消化器病学 (北川・A0229)		教養教育科目・外国語教育科目			教養教育科目・外国語教育科目			
	2	10:55	12:25	発信英語IA (カーティス・A0228、(非)リヴェラ(マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺(メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)			情報リテラシー (菅又・PC室 A0245)		獣医疫学 (門平・A0233)							○チーム獣医療学 (神田、小沼、望月・A0235)			
	3	13:15	14:45	動物福祉論 (大和田・A0227)			総合英語ⅢA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ(陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)		教養教育科目・外国語教育科目		総合参加型臨床実習 (北川、山添、久楽、岡村、杉山、宇根・カンファレンスルーム)					○医薬品・食品安全性評価演習 (齋藤・A0229)			
	4	15:00	16:30	総合英語IA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ(陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)					環境衛生学 (菅又・A0235)										
	5	16:45	18:15	1組 (1~2週)、2組 (4~5週)、3組 (7~8週) 生命科学実習 (担当・実習室同上)															
備考		*「動物関連キャリア概論」(1年)は実習のない週の午後で学外見学あり																	

○選択科目 (非) : 非常勤講師

獣医学科 授業時間割

② (春2)		獣医学科 授業時間割																			
		1年		2年		3年		4年		5年			6年								
		1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	ライフ	公共	医獣連携	ライフ	公共	医獣連携						
月曜日	1	9:10	10:40	獣医生化学 (江藤・A0227)		教養教育科目		獣医事法規 (吉川・A0229)		獣医臨床薬理学 (尾崎、水野、杉山、北川、佐伯、山田、松田・A0233)		獣医キャリアスキルアップ研修 (*北川、宇根、門平・学外インターンシップ)									
	2	10:55	12:25	獣医生化学 (江藤・A0227)		教養教育科目		魚病学 (北村・A0244)		獣医臨床栄養学 (星・A0223)											
	3	13:15	14:45	1組 (4、5、6週)	2組 (1、2、3週)	1組 (5~8週)	2組 (1~4週)	1組 (5~8週)	2組 (1~4週)	1組 (2、4、6、8週)	2組 (1、3、5、7週)										
	4	15:00	16:30	獣医生化学実習 (竹谷、江藤、村田、渡辺 (俊)、千葉、田中・基礎実習室1 A0231)		獣医実験動物学実習 (伊豆、邊見、早川、藤原、梶川、村上、宮前・基礎実習室2 A0232)		動物衛生学実習 (足立、(非)佐藤、柴原、菅又、吉川、畑、中村、北村、松山、前多、佐野、太田・獣医実習室1 A0241)		産業動物臨床実習 (山田、杉山、磯部、北川、星、小野、森田・大動物臨床実習室)											
	5	16:45	18:15																		
火曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目		動物実験学 (伊豆、梶川・A0227)		動物感染症学 (吉川、柳井・A0233)		獣医泌尿生殖器病学 (星・A0235)		獣医キャリアスキルアップ研修 (*北川、宇根、門平・学外インターンシップ)									
	2	10:55	12:25	○生涯スポーツ (我妻・体育館) 他教養教育科目3科目				魚病学 (北村・A0244)									○国際野生動物管理学 (柳井・A0233)				
	3	13:15	14:45	1組 (4、5、6週)	2組 (1、2、3週)			1組 (5~8週)	2組 (1~4週)						1組 (5~8週)	2組 (1~4週)	1組 (2、4、6、8週)	2組 (1、3、5、7週)			
	4	15:00	16:30	獣医生化学実習 (竹谷、江藤、村田、渡辺 (俊)、千葉、田中・基礎実習室1 A0231)				獣医実験動物学実習 (伊豆、邊見、早川、藤原、梶川、村上、宮前・基礎実習室2 A0232)							動物衛生学実習 (足立、(非)佐藤、柴原、菅又、吉川、畑、中村、北村、松山、前多、佐野、太田・獣医実習室1 A0241)		産業動物臨床実習 (山田、杉山、磯部、北川、星、小野、森田・大動物臨床実習室)				
	5	16:45	18:15																		
水曜日	1	9:10	10:40	生命倫理学 (岩田・A0227)		獣医薬理学各論 (水野・A0233)		放射線生物学 (江藤、(非)杉本 (幹)・A0235)		獣医医療面接実習 (北川、星、杉山、松田、小林、下川、杉本、望月、久楽、三河・内科実習室)		獣医キャリアスキルアップ研修 (*北川、宇根、門平・学外インターンシップ)					○国際生物資源学 (吉川、菅又、柳井、大和田、北村、(非)平山、菅藤・A0244)				
	2	10:55	12:25	獣医形態機能学 I (九郎丸・A0227)				動物感染症学 (吉川、柳井・A0244)													
	3	13:15	14:45	1組 (4、5、6週)	2組 (1、2、3週)			1組 (1~4週)	2組 (5~8週)						1組 (1~4週)	2組 (5~8週)	1組 (2、4、6、8週)	2組 (1、3、5、7週)			
	4	15:00	16:30	獣医生化学実習 (竹谷、江藤、村田、渡辺 (俊)、千葉、田中・基礎実習室1 A0231)				獣医薬理学実習 (尾崎、水野、西木、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)							魚病学実習 (飯田、北村、宮前、太田・獣医実習室1 A0241)		産業動物臨床実習 (山田、杉山、磯部、北川、星、小野、森田・大動物臨床実習室)				
	5	16:45	18:15																		
木曜日	1	9:10	10:40	○現代人の科学A (柳井・A0223) 他教養教育科目1科目		医動物学 (柴原・A0229)		○応用英語 I B (田口・A0224、(非)藤高・A0225、(非)高橋・A0226、(非)松本・A0234)		教養教育科目		獣医キャリアスキルアップ研修 (*北川、宇根、門平・学外インターンシップ)					○動物危機管理学 (吉川・A0235)				
	2	10:55	12:25	○実用英語 (プレゼンテーション) (田口・A0223) ○実用英語 (アカデミックライティング) (カーティス・A0224)				○専門英語 I B (小林 (正)・A0225、片山・A0226、三井・A0234)							獣医神経病学 (糸井・A0233)						
	3	13:15	14:45	1組 (4、5、6週)	2組 (1、2、3週)			1組 (1~4週)	2組 (5~8週)						1組 (1~4週)	2組 (5~8週)	1組 (2、4、6、8週)	2組 (1、3、5、7週)			
	4	15:00	16:30	獣医生化学実習 (竹谷、江藤、村田、渡辺 (俊)、千葉、田中・基礎実習室1 A0231)				獣医薬理学実習 (尾崎、水野、西木、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)							魚病学実習 (飯田、北村、宮前、太田・獣医実習室1 A0241)		産業動物臨床実習 (山田、杉山、磯部、北川、星、小野、森田・大動物臨床実習室)				
	5	16:45	18:15																		
金曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目		野生動物学 (柳井・A0229)		○総合英語ⅢB (カーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)		1組 (1、3、5週) 2組 (2、4、6週)		獣医キャリアスキルアップ研修 (*北川、宇根、門平・学外インターンシップ)									
	2	10:55	12:25	総合英語 I B (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)											獣医医療面接実習 (北川、星、杉山、松田、小林、下川、杉本、望月、久楽、三河・内科実習室)						
	3	13:15	14:45	教養教育科目・外国語教育科目											獣医運動器病学 (中嶋 (幸)・A0233)						
	4	15:00	16:30	総合英語 I B (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)											動物衛生学 (足立・A0227)						
	5	16:45	18:15																		
備考								*「獣医病理解剖学実習」(3年)は別途集中開講。				*「人獣共通感染症学実習」(5年)は別途集中開講。インターンシップ科目の「獣医キャリアスキルアップ研修」(5年)の担当教員は単位認定者であり、他の科目とは重複しない。			*「卒業論文Ⅱ」(6年)は各研究室で実施						

○選択科目 (非) : 非常勤講師

獣医学科 授業時間割

③ (秋1)		獣医学科 授業時間割																
		1年		2年		3年		4年		5年			6年					
		1組	2組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	ライフ	公共	医獣連携	ライフ	公共	医獣連携			
月曜日	1	9:10 10:40	生物物理学 (樽林・A0229)		教養教育科目				獣医麻酔科学 (神田・A0227)		獣医内分泌代謝学 (星・A0235)			○分子細胞腫瘍学 (中嶋、江藤、西木、依田、佐伯・A0244)				
	2	10:55 12:25	○生産農学概論 (松山・A0227)		教養教育科目				獣医画像診断学 (下川、望月、久楽・A0229)		○国際獣医事概論 (吉川・A0244)							
	3	13:15 14:45	獣医生理学 (汾陽・A0227)		1組 (1~4週)		2組 (5~8週)		獣医病理学実習 (宇根、片山、三井、新井、柳井・獣医実習室1 A0241)		獣医臨床繁殖学実習 (前多、松山、磯部、稲葉、中村、小野、森田・大動物臨床実習室)							
	4	15:00 16:30	獣医免疫学実習 (邊見、伊豆、向田、北川、村上、宮前、杉山・基礎実習室2 A0232)															
	5	16:45 18:15																
火曜日	1	9:10 10:40	教養教育科目		人獣共通感染症学 (吉川・A0233)				獣医病理学各論 (宇根・A0235)		教養教育科目							
	2	10:55 12:25	○健康の科学 (我妻・A0225) 他教養教育科目3科目						獣医画像診断学 (下川、望月、久楽・A0235)		教養教育科目			○発生工学 (邊見、五十嵐・A0244)				
	3	13:15 14:45	獣医形態機能学Ⅱ (松井・A0227)		(1~4週)	(5~8週)	(1~4週)	(5~8週)	獣医病理学実習 (宇根、片山、三井、新井、柳井・獣医実習室1 A0241)		獣医臨床繁殖学実習 (前多、松山、磯部、稲葉、中村、小野、森田・大動物臨床実習室)			○抗菌薬バイオロジー (儀・A0244)				
	4	15:00 16:30	獣医免疫学実習 (邊見、伊豆、向田、北川、村上、宮前、杉山・基礎実習室2 A0232)		医動物学実習 (柴原、黒木、林、太田・獣医実習室2 A0242)		医動物学実習 (柴原、黒木、林、太田・獣医実習室2 A0242)							獣医免疫学実習 (邊見、伊豆、向田、北川、村上、宮前、杉山・基礎実習室2 A0232)		○トランスレーショナル・リサーチ (樽林・A0246)		
	5	16:45 18:15																
水曜日	1	9:10 10:40	獣医生理学 (汾陽・A0227)		獣医免疫学 (邊見・A0233)				獣医外科学総論 (山添・A0235)		獣医臨床繁殖学 (前多・A0244)							
	2	10:55 12:25	○人間・動物関係学 (岩田・A0227)						獣医手術学総論 (山添・A0235)					○国際動物関連法規 (柴原、吉川・A0246)				
	3	13:15 14:45	1組 (1~4週)		2組 (5~8週)		1組 (5~8週)		2組 (1~4週)		○総合臨床検査特別実習 (星、杉山、下川、三井、小野、小野(文)・基礎実習室2 A0232)							
	4	15:00 16:30	獣医組織学実習 (九郎丸、松井、片山、五十嵐・基礎実習室1 A0231)		医動物学実習 (柴原、黒木、林、太田・獣医実習室2 A0242)				獣医病理学各論 (宇根・A0235)					動物行動治療学 (岩田・A0244)				
	5	16:45 18:15																
木曜日	1	9:10 10:40	○現代人の科学C (吉川・A0221) 他教養教育科目1科目		遺伝育種学 (磯部、前多・A0229)				○応用英語ⅡA (田口・A0224、(非)藤高・A0225、(非)高橋・A0226、(非)松本・A0234)		教養教育科目			○分子疫学 (渡辺、樽林、森川、依田・A0233)				
	2	10:55 12:25	○人間・動物関係学 (岩田・A0227)						○専門英語ⅡA (門平・A0225、中嶋・A0226、太田・A0234)		教養教育科目							
	3	13:15 14:45	1組 (1~4週)		2組 (5~8週)		小動物内科学実習 (星、北川、山添、岡村、杉山、松田、小林、中嶋、伊藤、前田、下川、神田、杉本、佐伯、望月、久楽、三河、糸井、村上、森田、新井・内科実習室)					○レギュラトリー科学 (手島、西木、斎藤・A0227)						
	4	15:00 16:30	獣医組織学実習 (九郎丸、松井、片山、五十嵐・基礎実習室1 A0231)															
	5	16:45 18:15																
金曜日	1	9:10 10:40	教養教育科目		○発情英語ⅣA (カーティス・A0228、(非)リヴェラ(マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺(メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)				教養教育科目		○産業動物疾病予防管理学 (磯部・A0229)			総合獣医学演習Ⅱ (九郎丸、宇根、菅又、北川・A0227)				
	2	10:55 12:25	発情英語ⅡA (カーティス・A0228、(非)リヴェラ(マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺(メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)		○生物統計 (我妻・A0235)				獣医内科学総論 (星、北川・A0233)		○エキゾチックアニマル学 (宇根、柳井、三井・A0229)							
	3	13:15 14:45	教養教育科目・外国語教育科目		総合英語ⅣA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ(陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)				小動物内科学実習 (星、北川、山添、岡村、杉山、松田、小林、中嶋、伊藤、前田、下川、神田、杉本、佐伯、望月、久楽、三河、糸井、村上、森田、新井・内科実習室)		○ライフサイエンス特別実習 (伊豆、邊見、片山、松井、我妻、依田、水野、村田・獣医実習室2 A0242)			○公共獣医事情報解析実習 (菅又、吉川、手島、作道、黒木・PC室 A0245)				
	4	15:00 16:30	総合英語ⅡA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ(陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)															
	5	16:45 18:15																
備考		*「卒業論文Ⅰ」(5年)は各研究室で実施 *「卒業論文Ⅲ」(6年)は各研究室で実施																

○選択科目 (非) : 非常勤講師

獣医学科 授業時間割

④ (秋2)		獣医学科 授業時間割															
		1年		2年				3年		4年		5年			6年		
		1組	2組	1組		2組		1組	2組	1組	2組	ライフ	公共	医獣連携	ライフ	公共	医獣連携
月曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目				獣医軟部組織外科学 (岡村・A0233)		獣医臨床病理学 (下川・A0235)			○セキュリティ学 (菅又・A0244)				
	2	10:55	12:25	教養教育科目				家禽疾病学 (吉川・A0227)		教養教育科目				○国際展示動物疾病学 (柳井、宇根、飯田・A0244)			
	3	13:15	14:45	(1~3、7週)	(4~6、8週)	(1~3、7週)	(4~6、8週)	1組 (1、3、5、7週)	2組 (2、4、6、8週)								
	4	15:00	16:30	獣医解剖学実習 (九郎丸、宇根、松井、三井、五十嵐・大動物解剖室)				獣医画像診断学実習 (岡村、望月、松田、前田、久楽、小林、大西、杉本・外科実習室)									
	5	16:45	18:15	獣医解剖学実習 (菅又、黒木、吉川、北村、依田、渡辺、藤井、作道、佐野・獣医実習室2 A0242)				獣医解剖学実習 (九郎丸、宇根、松井、三井、五十嵐・大動物解剖室)									
火曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目				獣医画像診断学実習 (岡村、望月、松田、前田、久楽、小林、大西、杉本・外科実習室)		獣医皮膚病学 (北川・A0233)			○産業動物疾病診断病理学 (宇根、三井・A0235)				
	2	10:55	12:25	○健康の科学 (我妻・A0225) 他教養教育科目3科目				獣医公衆衛生学総論 (菅又・A0227)		教養教育科目							
	3	13:15	14:45	(1~3、7週)	(4~6、8週)	(1~3、7週)	(4~6、8週)	小動物外科学実習 (山添、岡村、大西、中嶋、伊藤(良)、前田、杉本、神田、佐伯、望月、新井、糸井、小野(文子)・外科実習室) ※4、6週目以外は4限まで			○創薬科学 (儀・A0227)						
	4	15:00	16:30	獣医解剖学実習 (九郎丸、宇根、松井、三井、五十嵐・大動物解剖室)				獣医解剖学実習 (九郎丸、宇根、松井、三井、五十嵐・大動物解剖室)									
	5	16:45	18:15	獣医解剖学実習 (菅又、黒木、吉川、北村、依田、渡辺、藤井、作道、佐野・獣医実習室2 A0242)				獣医解剖学実習 (九郎丸、宇根、松井、三井、五十嵐・大動物解剖室)									
水曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目				獣医呼吸・循環器病学 (北川、杉山、杉本、望月・A0235)		獣医眼科学 (伊藤(良)・A0227)			○グローバル食品管理科学 (菅又・A0244)				
	2	10:55	12:25	○水産増養殖学 (飯田・A0227)				獣医毒性学 (西木・A0233)		馬臨床学 ((非) 仙波・A0227)				○免疫関連疾病学 (杉山・A0233)			
	3	13:15	14:45	1組 (1~4週)	2組 (5~8週)	(1~3、7週)	(4~6、8週)	小動物外科学実習 (山添、岡村、大西、中嶋、伊藤(良)、前田、杉本、神田、佐伯、望月、新井、糸井、小野(文子)・外科実習室) ※4、6週目以外は4限まで									
	4	15:00	16:30	獣医生理学実習 (汾陽、江藤、村田、竹谷、我妻、依田、千葉・基礎実習室1 A0231)				獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)		獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)							
	5	16:45	18:15	獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)				獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)									
木曜日	1	9:10	10:40	○栄養学 (小沼・A0229) ○現代人の科学A (柳井・A0222)				教養教育科目		○応用英語ⅡB (田口・A0224、(非) 藤高・A0225、(非) 高橋・A0226、(非) 松本・A0234)		総合獣医学演習Ⅰ (尾崎、北川、門平、岩田、伊藤、下川、神田、星、杉山、松田、望月、久楽、杉本、三河、山田、稲葉、小野、森田、岡村、山添、前田、中嶋、小林、糸井、佐伯、前多・A0233)					
	2	10:55	12:25	○栄養学 (小沼・A0229)				教養教育科目		○専門英語ⅡB (江藤・A0225、伊豆・A0226、依田・A0234)		獣医臨床腫瘍学 (岡村・A0221)			○トランスレーショナル・ペテリナリメディスン (星、松田、中嶋・A0233)		
	3	13:15	14:45	1組 (1~4週)	2組 (5~8週)	(1~3、7週)	(4~6、8週)	小動物外科学実習 (山添、岡村、大西、中嶋、伊藤(良)、前田、杉本、神田、佐伯、望月、新井、糸井、小野(文子)・外科実習室) ※4、6週目以外は4限まで									
	4	15:00	16:30	獣医生理学実習 (汾陽、江藤、村田、竹谷、我妻、依田、千葉・基礎実習室1 A0231)				獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)		獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)							
	5	16:45	18:15	獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)				獣医毒性学実習 (西木、尾崎、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)									
金曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目				○発情英語ⅣBカーティス・A0228、(非) リヴェラ(マ)・A0221、(非) 門田・A0222、(非) バード・A0223、(非) 鳥生・A0224、(非) 渡辺(メ)・A0225、(非) ストレンジ・A0226、(非) 川口・A0234		獣医画像診断学実習 (岡村、望月、松田、前田、久楽、小林、大西、杉本・外科実習室)		教養教育科目					
	2	10:55	12:25	発情英語ⅡB (カーティス・A0228、(非) リヴェラ(マ)・A0221、(非) 門田・A0222、(非) バード・A0223、(非) 鳥生・A0224、(非) 渡辺(メ)・A0225、(非) ストレンジ・A0226、(非) 川口・A0234)				総合英語ⅣB (田口・A0228、(非) 藤高・A0221、(非) 高橋・A0222、(非) 松本・A0223、(非) リヴェラ(陽)・A0224、(非) 藤倉・A0225、(非) 菅・A0226、(非) 松原・A0234)		小動物外科学実習 (山添、岡村、大西、中嶋、伊藤(良)、前田、杉本、神田、佐伯、望月、新井、糸井、小野(文子)・外科実習室) ※4、6週目以外は4限まで			○比較動物機能科学 (汾陽、村田、千葉、九郎丸・A0235)				
	3	13:15	14:45	教養教育科目・外国語教育科目				総合英語ⅣB (田口・A0228、(非) 藤高・A0221、(非) 高橋・A0222、(非) 松本・A0223、(非) リヴェラ(陽)・A0224、(非) 藤倉・A0225、(非) 菅・A0226、(非) 松原・A0234)		小動物外科学実習 (山添、岡村、大西、中嶋、伊藤(良)、前田、杉本、神田、佐伯、望月、新井、糸井、小野(文子)・外科実習室) ※4、6週目以外は4限まで				○国際動物疾病学 (門平、森川、作道・A0233)			
	4	15:00	16:30	総合英語ⅡB (田口・A0228、(非) 藤高・A0221、(非) 高橋・A0222、(非) 松本・A0223、(非) リヴェラ(陽)・A0224、(非) 藤倉・A0225、(非) 菅・A0226、(非) 松原・A0234)													
	5	16:45	18:15														
備考		*「卒業論文Ⅰ」(5年)は各研究室で実施 *「卒業論文Ⅲ」(6年)は各研究室で実施															

○選択科目 (非) : 非常勤講師

獣医保健看護学科 授業時間割

① (春1)		獣医保健看護学科 授業時間割								
		1年			2年		3年		4年	
		1組	2組	3組	1組	2組	1組	2組	1組	2組
月曜日	1	9:10	10:40	○化学 (俵・A0229)			○動物薬理学総論 (尾崎・A0233)		○食品衛生学 (手島・A0244)	
	2	10:55	12:25	○政治学A (戸田・A0226) ○法学A (渡邊・A0234) 他教養教育科目3科目			○バイオセーフティ学 (森川・A0246)			
	3	13:15	14:45	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	○インターンシップ概論 (渡邊、小林 (忠)、戸田・A0228)		○動物とヒトの健康と福祉特論 (古川、小沼・A0235)	
	4	15:00	16:30	○生命科学実習 (江藤、九郎丸、汾陽、水野、松井、村田、竹谷、片山、我妻、五十嵐、千葉、田中、向田、林、中村、太田・基礎実習室1 A0231)			○企業情報特論A (中村(修)・A0228)		動物臨床検査学 I (畑・A0246)	
	5	16:45	18:15							
火曜日	1	9:10	10:40	動物分子生物学 (江藤・A0244)			動物看護技術学 (古川・A0227)		○社会と人間A (戸田・A0223) ○国際関係論A (渡邊・A0234) 他教養教育科目3科目	
	2	10:55	12:25	○教養演習A (戸田・A0223)、学びの基礎論A (小林 (忠)・A0224)、○生涯スポーツ (我妻・体育館) 他教養教育科目1科目			○野生動物学 (柳井・A0227)		○教養演習A (戸田・A0223) ○学びの基礎論A (小林 (忠)・A0224)	
	3	13:15	14:45	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	(6、7、8週)		(1~2、5~6週)	
	4	15:00	16:30	○生命科学実習 (江藤、九郎丸、汾陽、水野、松井、村田、竹谷、片山、我妻、五十嵐、千葉、田中、向田、林、中村、太田・基礎実習室1 A0231)			○動物薬理学実習 (基礎実習室2 A0232) (水野、早川、向田、藤原、梶川・基礎実習室2 A0232)		臨床動物看護学総論 (古川・A0233)	
	5	16:45	18:15						○人工授精学実習 (磯部、松山、稲葉・大動物臨床実習室)	
水曜日	1	9:10	10:40	○実用英語 (プレゼンテーション) (カーティス・A0221)、○実用英語 (アカデミックライティング) (田口・A0222)、○文章表現法基礎編A (戸田・A0223) ○プレゼンテーション基礎編A (小林・A0224)、○日本国憲法 (渡邊・A0225)			○動物微生物学 (渡辺・A0235)		○動物行動学 (岩田・A0244)	
	2	10:55	12:25	動物関連キャリア概論 (吉川、北川、小野 (文)、菅又、手島、黒木、飯田、山田、樽林、俵、尾崎、柴原、宇根、水野、伊豆、片山、北村、畑・A0229) *						
	3	13:15	14:45	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	(6、7、8週)		○動物物理学療法学演習 ((非) 山本・A0235)	
	4	15:00	16:30	○生命科学実習 (江藤、九郎丸、汾陽、水野、松井、村田、竹谷、片山、我妻、五十嵐、千葉、田中、向田、林、中村、太田・基礎実習室1 A0231)			○動物薬理学実習 (基礎実習室2 A0232) (水野、早川、向田、藤原、梶川・基礎実習室2 A0232)			
	5	16:45	18:15						○実験動物飼養管理学 (古本・A0233)	
木曜日	1	9:10	10:40	生命科学 (村田・A0233)			動物看護技術学 (古川、A0235)		○応用英語 I A (田口・A0224、(非) 藤高・A0225、(非) 高橋・A0226、(非) 松本・A0234)	
	2	10:55	12:25	生命倫理学 (大和田・A0233)			外国語教育科目		○専門英語 I A (江藤・A0225、伊豆・A0226、向田・A0234)	
	3	13:15	14:45	フレッシュマンセミナー (尾崎・A0229)			(6、7、8週)		(1~2、5~6週)	
	4	15:00	16:30	1組 (1~2週)	2組 (4~5週)	3組 (7~8週)	○動物薬理学実習 (基礎実習室2 A0232) (水野、早川、向田、藤原、梶川・基礎実習室2 A0232)		○人工授精学実習 (磯部、松山、稲葉・大動物臨床実習室)	
	5	16:45	18:15	生命科学実習 (担当・実習室同上)						
金曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目			○発達英語 III A (カーティス・A0228、(非) リヴェラ (マ)・A0221、(非) 門田・A0222、(非) バード・A0223、(非) 鳥生・A0224、(非) 渡辺 (メ)・A0225、(非) ストレンジ・A0226、(非) 川口・A0234)		プレゼミナール I (小野、松山、古川、大和田、佐々木、古本、小沼・A0227)	
	2	10:55	12:25	発達英語 I A (カーティス・A0228、(非) リヴェラ (マ)・A0221、(非) 門田・A0222、(非) バード・A0223、(非) 鳥生・A0224、(非) 渡辺 (メ)・A0225、(非) ストレンジ・A0226、(非) 川口・A0234)			○野生動物学 (柳井・A0227)		チーム獣医療学 (神田、小沼、望月・A0235)	
	3	13:15	14:45	教養教育科目			総合英語 III A (田口・A0228、(非) 藤高・A0221、(非) 高橋・A0222、(非) 松本・A0223、(非) リヴェラ (陽)・A0224、(非) 藤倉・A0225、(非) 菅・A0226、(非) 松原・A0234)			
	4	15:00	16:30	総合英語 I A (田口・A0228、(非) 藤高・A0221、(非) 高橋・A0222、(非) 松本・A0223、(非) リヴェラ (陽)・A0224、(非) 藤倉・A0225、(非) 菅・A0226、(非) 松原・A0234)					○医薬品・食品安全性評価演習 (齋藤・A0229)	
	5	16:45	18:15	1組 (1~2週)、2組 (4~5週)、3組 (7~8週) 生命科学実習 (担当・実習室同上)						
備考		*「動物関連キャリア概論」(1年)は実習のない週の午後で学外見学あり							*「卒業研究 I」(4年)は各研究室で実施	

○選択科目 (非) : 非常勤講師

@

獣医保健看護学科 授業時間割

② (春2)		獣医保健看護学科 授業時間割										
		1年			2年		3年		4年			
		1組	2組	3組	1組	2組	1組	2組	1組	2組		
月曜日	1	9:10	10:40	獣医事法規 (吉川・A0229)			○獣医疫学 (黒木・A0235)		○動物園・水族館学 (柳井、宇根、飯田・A0244)		○家畜疾病学 (磯部・A0221)	
	2	10:55	12:25	○政治学B (戸田・A0226) ○法学B (渡邊・A0234) 他教養教育科目3科目								
	3	13:15	14:45	○人間・動物関係学 (岩田・A0227)			○インターンシップ概論 (渡邊、小林 (忠)、戸田・A0228)				○動物とヒトの健康と福祉特論 (古川、小沼・A0235)	
	4	15:00	16:30				○企業情報特論B (中村 (修)・A0228)		○臨床動物看護技術学実習 (小沼、関口・看護実習室)			
	5	16:45	18:15									
火曜日	1	9:10	10:40	○社会と人間B (戸田・A0223) ○国際関係論B (渡邊・A0234) 他教養教育科目3科目			○動物薬理学各論 (水野・A0246)		動物臨床検査学Ⅱ (畑、古川・A0228)		産業動物特論 (松山、磯部・A0221)	
	2	10:55	12:25	○教養演習B (戸田・A0223) ○学びの基礎論B (小林 (忠)・A0224)								
	3	13:15	14:45	○愛玩動物飼育管理論 (岩田・A0233)							生物多様性保全論 (柳井・A0235)	
	4	15:00	16:30	動物福祉論 (大和田・A0233)			動物看護技術学実習Ⅰ (古川、古本、関口・看護実習室)					
	5	16:45	18:15									
水曜日	1	9:10	10:40	○実用英語 (プレゼンテーション) (カーティス・A0221)、○実用英語 (アカデミックライティング) (田口・A0222)、○文章表現法基礎編B (戸田・A0223) ○プレゼンテーション基礎編B (小林・A0224)、○日本国憲法 (渡邊・A0225)			○動物免疫学 (邊見・A0228)		臨床動物看護学各論Ⅰ (小沼・A0226)			
	2	10:55	12:25	○生産農学概論 (松山・A0246)								
	3	13:15	14:45								実験動物看護実習 (大和田、小野、古本、関口・獣医実習室3 A0243)	
	4	15:00	16:30	○愛玩動物飼育管理論 (岩田・A0246)					高齢動物看護学 (古川・A0226)			
	5	16:45	18:15									
木曜日	1	9:10	10:40	動物生化学 (江藤・A0244)			○医動物学 (黒木・A0229)		○応用英語ⅠB (田口・A0224、(非)藤高・A0225、(非)高橋・A0226、(非)松本・A0234)			
	2	10:55	12:25						○専門英語ⅠB (江藤・A0225、伊豆・A0226、向田・A0234)			
	3	13:15	14:45				○動物病理学 (片山・A0228)					
	4	15:00	16:30						動物臨床検査学実習Ⅰ (畑、小沼、三河・獣医実習室2 A0242)		○実験動物学実習Ⅱ (古本、大和田、関口・獣医実習室3)	
	5	16:45	18:15									
金曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目			○発信英語ⅢB (カーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)		プレゼミナールⅡ (小野、松山、古川、大和田、佐々木、古本、小沼・各研究室)		遺伝子工学 (早川・A0233)	
	2	10:55	12:25	発信英語ⅠB (カーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)			人獣共通感染症学 (吉川・A0235)					
	3	13:15	14:45	教養教育科目・外国語教育科目			総合英語ⅢB (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)					
	4	15:00	16:30	総合英語ⅠB (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)			人獣共通感染症学 (吉川・A0235)		動物臨床検査学実習Ⅱ (畑、佐々木、関口・獣医実習室2 A0242)			
	5	16:45	18:15									
備考												*「卒業研究Ⅰ」(4年)は各研究室で実施

○選択科目 (非)：非常勤講師

獣医保健看護学科 授業時間割

③ (秋1)		獣医保健看護学科 授業時間割								
		1年			2年		3年		4年	
		1組	2組	3組	1組	2組	1組	2組	1組	2組
月曜日	1	9:10 10:40	○生物物理学 (樽林・A0229)			○プレゼンテーション応用編A (小林 (忠)・A0225) ○文章表現法応用編A (戸田・A0226)		○臨床動物看護学演習 (小沼、古川、関口・A0221)		
	2	10:55 12:25	動物形態機能学Ⅱ (松井・A0228)			○動物実験学 (伊豆、梶川・A0233)		教養教育科目		
	3	13:15 14:45								
	4	15:00 16:30	○動物形態機能学実習 (九郎丸、松井、林、五十嵐・基礎実習室1 A0231)			○実験動物学 (大和田・A0228)		動物看護技術学実習Ⅲ (佐々木、小沼、岩田・看護実習室)		
	5	16:45 18:15								
火曜日	1	9:10 10:40	○社会と人間A (戸田・A0223) ○国際関係論A (渡邊・A0234) 他教養教育科目3科目					臨床動物看護学各論Ⅱ (伊豆、伊藤・A0221)		○実験動物福祉特論 (大和田、古本・A0228)
	2	10:55 12:25	○教養演習A (戸田・A0223) ○学びの基礎論A (小林 (忠)・A0224) 他教養教育科目他2科目							
	3	13:15 14:45								
	4	15:00 16:30				○実験動物学実習Ⅰ (古本、大和田、関口・獣医実習室3 A0243)		動物看護技術学実習Ⅲ (佐々木、小沼、岩田・看護実習室)		○トランスレーショナル・リサーチ (樽林・A0246)
	5	16:45 18:15								
水曜日	1	9:10 10:40	○文章表現法基礎編A (戸田・A0224) ○プレゼンテーション基礎編A (小林 (忠)・A0224)			○動物公衆衛生学 (菅又・A0221)		外科動物看護技術学 (佐々木・A0222)		○獣医病態モデル学 (伊豆、小野、西木、千葉、伊豆、小野、西木、千葉・A0246)
	2	10:55 12:25	動物形態機能学Ⅱ (松井・A0228)							○生殖工学 (松山、関口・A0223)
	3	13:15 14:45								
	4	15:00 16:30	生命関連法規 (大和田・A0228)			動物看護技術学実習Ⅱ (古川、古本、関口・看護実習室)		○救急・終末医療看護学 (佐々木・A0222)		
	5	16:45 18:15								
木曜日	1	9:10 10:40	○キャリア形成講座A (渡邊・小林 (忠)、戸田) ○現代人の科学C (吉川・A0221)			○遺伝育種学 (磯部、前多・A0229)		○応用英語ⅡA (田口・A0224、(非)藤高・A0225、(非)高橋・A0226、(非)松本・A0234)		
	2	10:55 12:25	○実用英語 (プレゼンテーション) (田口・A0223) ○実用英語 (アカデミックライティング) (カーティス・A0224)					○専門英語ⅡA (門平・A0225、中嶋・A0226、太田・A0234)		
	3	13:15 14:45	情報リテラシー (菅又・PC)							○レギュラトリー科学 (手島、西木、齋藤・A0227)
	4	15:00 16:30				○動物微生物学実習 (森川、渡辺、藤井、林・獣医実習室2 A0242)				
	5	16:45 18:15								
金曜日	1	9:10 10:40	教養教育科目			○発信英語ⅣA (カーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)		プレゼミナールⅢ (小野、松山、古川、大和田、佐々木、古本、小沼・各研究室)		○産業動物疾病予防管理学 (磯部・A0229)
	2	10:55 12:25	発信英語ⅡA ((カーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234))			○動物実験学 (伊豆、梶川・A0227)		○エキゾチックアニマル学 (宇根、柳井、三井・A0229)		
	3	13:15 14:45	教養教育科目・外国語教育科目			総合英語ⅣA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)		○家畜繁殖学 (磯部・A0233)		
	4	15:00 16:30	総合英語ⅡA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)							○生殖工学実習 (松山、関口・獣医実習室3 A0243)
	5	16:45 18:15								
備考							* 獣医看護実務実習Ⅰ (3年)、獣医看護実務実習Ⅱ (3年)は集中開講。		* 「卒業研究Ⅱ」 (4年)は各研究室で実施	

○選択科目 (非) : 非常勤講師

獣医保健看護学科 授業時間割

④ (秋2)		獣医保健看護学科 授業時間割									
		1年			2年		3年		4年		
		1組	2組	3組	1組	2組	1組	2組	1組	2組	
月曜日	1	9:10	10:40	動物生理学 (村田・A0221)			○プレゼンテーション応用編B (小林 (忠)・A0225) ○文章表現法応用編B (戸田・A0226)		○病院動物看護実習 (神田、糸井、佐々木、小沼、古川、星、久楽、北川、伊藤、岩田・獣医学教育病院) 外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上・看護実習室) ※両実習については別途記載		
	2	10:55	12:25	○政治学B (戸田・A0226) ○法学B (渡邊・A0234) 他3科目教養教育科目							
	3	13:15	14:45	動物看護学概論 (小野 (文)・A0228)							
	4	15:00	16:30				○動物毒性学実習 (西木、水野、齋藤、早川、向田、藤原・基礎実習室2 A0232)				
	5	16:45	18:15								
火曜日	1	9:10	10:40	○社会と人間B (戸田・A0223) ○国際関係論B (渡邊・A0234) 他3科目教養教育科目			○生物統計 (我妻・A0244)		○病院動物看護実習 (神田、糸井、佐々木、小沼、古川、星、久楽、北川、伊藤、岩田・獣医学教育病院) 外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上・看護実習室) ※両実習については別途記載		
	2	10:55	12:25	○教養演習B (戸田・A0223) ○学びの基礎論B (小林 (忠)・A0224)							
	3	13:15	14:45				(1~4週) ○臨床動物栄養学 (星、(非)川重・A0233)				
	4	15:00	16:30								
	5	16:45	18:15								
水曜日	1	9:10	10:40	○文章表現法基礎編B (戸田・A0224) ○プレゼンテーション基礎編B (小林 (忠)・A0224)					○病院動物看護実習 (神田、糸井、佐々木、小沼、古川、星、久楽、北川、伊藤、岩田・獣医学教育病院) 外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上・看護実習室) ※両実習については別途記載		
	2	10:55	12:25	動物生理学 (村田・A0221)			産業動物看護学 (松山・A0228)				
	3	13:15	14:45								
	4	15:00	16:30				産業動物看護学実習 (松山、磯部、山田、関口、中村、小野 (哲)・大動物臨床実習室)				
	5	16:45	18:15								
木曜日	1	9:10	10:40	栄養学 (小沼・A0229)			○動物毒性学 (齋藤・A0227)		○VPP特論 (佐々木、小野 (文)・A0222) 実験動物処理管理演習 (大和田・A0235) 臨床動物看護学各論Ⅲ (佐々木・A0223)		
	2	10:55	12:25								
	3	13:15	14:45								
	4	15:00	16:30				(1~4週) 臨床動物栄養学 (星、(非)川重・A0228)				
	5	16:45	18:15								
金曜日	1	9:10	10:40	教養教育科目			○発信英語IVBカーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234		プレゼミナールⅣ (小野、松山、古川、大和田、佐々木、古本、小沼・各研究室)		
	2	10:55	12:25	発信英語ⅡA (カーティス・A0228、(非)リヴェラ (マ)・A0221、(非)門田・A0222、(非)バード・A0223、(非)鳥生・A0224、(非)渡辺 (メ)・A0225、(非)ストレンジ・A0226、(非)川口・A0234)			産業動物看護学 (松山・A0235)		○動物の疼痛と福祉 (小野 (文)、岩田・A0244)		
	3	13:15	14:45	教養教育科目・外国語教育科目			総合英語IVB (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)				
	4	15:00	16:30	総合英語ⅡA (田口・A0228、(非)藤高・A0221、(非)高橋・A0222、(非)松本・A0223、(非)リヴェラ (陽)・A0224、(非)藤倉・A0225、(非)菅・A0226、(非)松原・A0234)							
	5	16:45	18:15								
備考											*「卒業研究Ⅱ」(4年)は各研究室で実施

○選択科目 (非)：非常勤講師

獣医学部実習施設一覧

施設名	郵便番号	住所	獣医学科					獣医保健看護学科			ページ	
			動物関連 キャリア 概論	獣医公衆衛生 学実習	動物衛生学 実習	総合参加型 臨床実習	獣医キャリア アスキ ル	動物関連 キャリア 概論	獣医看護 実務実習 I	獣医看護 実務実習 II		
			1年次 人数	2年次 人数	3年次 人数	5年次 人数	5年次 人数	1年次 人数	3年次 人数	3年次 人数		
1 愛媛県 保健福祉部健康衛生局業務衛生課	790-0001	愛媛県松山市一番町4-4-2	40	85	20			35				1
2 愛媛県 西条保健所	793-0042	愛媛県西条市喜多川796-1										
3 愛媛県 四国中央保健所	799-0404	愛媛県四国中央市三島宮川4-6-53										
4 愛媛県 今治保健所	794-8502	愛媛県今治市旭町1-4-9										
5 愛媛県 中予保健所	790-8502	愛媛県松山市北持田132										
6 愛媛県 宇和島保健所	798-8511	愛媛県宇和島市天神町7-1										
7 愛媛県 八幡浜保健所	796-0048	愛媛県八幡浜市北浜1-3-37										
8 愛媛県 食肉衛生検査センター	795-0046	愛媛県大洲市春賀甲410										
9 愛媛県 動物愛護センター	791-0133	愛媛県松山市東川町乙44-7										
10 愛媛県 衛生環境研究所	790-0003	愛媛県松山市三番町8-234	40	40				5				
11 愛媛県 農林水産部農業振興局畜産課	790-8570	愛媛県松山市一番町4-4-2										
12 愛媛県 東予家畜保健衛生所	793-0072	愛媛県西条市氷見乙2025										
13 愛媛県 東予家畜保健衛生所 今治支所	794-0026	愛媛県今治市別宮町9-1-50										
14 愛媛県 中予家畜保健衛生所・家畜病性鑑定所	791-3133	愛媛県伊予郡松前町昌農内641										
15 愛媛県 南予家畜保健衛生所	796-8010	愛媛県八幡浜市五反田1番耕地18番地3										
16 愛媛県 南予家畜保健衛生所 宇和島支所	798-0020	愛媛県宇和島市高串字丁田1										
17 愛媛県 畜産研究センター	797-1211	愛媛県西予市野村町阿下7-156										
18 愛媛県 畜産研究センター 養鶏研究所	799-1316	愛媛県西条市福成寺乙159										
19 のまうまハイランド	794-0082	愛媛県今治市野間甲8	160		40	42		60	10	10		3・5
20 松山市保健所	790-0813	愛媛県松山市萱町六丁目30-5	10	20				10				7
21 愛媛大学 南予水産研究センター	798-4292	愛媛県南宇和郡愛南町船越1289-1	10	20	20	2	10	2				8
22 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	790-8577	愛媛県松山市文京町2-5	10	20	20	2	10	2				
23 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	790-8577	愛媛県松山市文京町3				2						
24 愛媛大学 学術支援センター	790-0825	愛媛県松山市道後樋又10-13						2				
25 愛媛大学 食品健康科学研究センター	790-8566	愛媛県松山市樽味3-5-7				2		2				
26 愛媛大学 医学系研究科免疫学・感染防御学(山下政克教授)	791-0295	愛媛県東温市志津川				4		2				
27 愛媛大学 医学系研究科分子病理学/附属病院病理部(北澤莊平教授)	791-0295	愛媛県東温市志津川				5		5				
28 愛媛大学 医学系研究科整形外科(三浦裕正教授)	791-0295	愛媛県東温市志津川				2						
29 愛媛大学 医学系研究科消化器腫瘍外科学(渡部祐司教授)	791-0295	愛媛県東温市志津川				2						
30 愛媛大学 医学系研究科分子細胞生理学(田中潤也教授)	791-0295	愛媛県東温市志津川				2						
31 愛媛大学 医学系研究科循環生理学(満田憲昭教授)	791-0295	愛媛県東温市志津川				2						
32 愛媛大学 理工学研究科生産環境工学専攻水圏環境工学(渡辺幸三准教授)	790-8577	愛媛県松山市文京町3				2		2				
33 愛媛大学 理工学研究科物質生命工学専攻材料物性工学(小林千悟教授)	790-8577	愛媛県松山市文京町3				2		2				
34 愛媛大学 農学研究科食料生産学専攻農業生産学コース畜産学(橋哲也准教授)	790-8566	愛媛県松山市樽味3丁目5-7				2		2				

施設名	郵便番号	住所	獣医学科					獣医保健看護学科			ページ	
			動物 関連 キャリア 概論	獣 医 公 衆 衛 生 学 実 習	動 物 衛 生 学 実 習	総 合 参 加 型 臨 床 実 習	ア ッ プ リ エ ィ ス キ ル 研 修	動 物 関 連 キ ャ リ ア 概 論	獣 医 保 健 実 務 実 習 Ⅰ	獣 医 保 健 実 務 実 習 Ⅱ		
			1年次 人数	2年次 人数	3年次 人数	5年次 人数	5年次 人数	1年次 人数	3年次 人数	3年次 人数		
35 千葉科学大学 薬学部 薬品合成化学研究室(今井 信行教授)	288-0025	千葉県銚子市潮見町15-8					3					10
36 千葉科学大学 薬学部 免疫/微生物学教室(増澤 俊幸教授)	288-0025	千葉県銚子市潮見町15-8					3					
37 千葉科学大学 薬学部 病態生化学研究室(柏木 敬子教授)	288-0025	千葉県銚子市潮見町15-8					3					
38 千葉科学大学 薬学部 薬理学教室(大熊 康修教授)	288-0025	千葉県銚子市潮見町15-8					3					
39 千葉科学大学 薬学部 臨床薬理学研究室(榎 泰宏教授)	288-0025	千葉県銚子市潮見町15-8					3					
40 千葉科学大学 薬学部 薬物動態学研究室(細川 正清教授)	288-0025	千葉県銚子市潮見町15-8					3					
41 学校法人加計学園 生命動物教育センター	700-0005	岡山県岡山市北区理大町1-1	10	20	40			10				12
42 倉敷芸術科学大学 生命科学部動物生命科学科 教育動物病院	712-8505	岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地	20					10	4	4		13
43 岡山理科大学専門学校 動物病院	700-0003	岡山県岡山市北区半田町8-3	20					10	4	4		14
44 JAえひめアイパックス株式会社	795-0046	愛媛県大洲市春賀甲410番地	10		40		2	10				15
45 愛媛県立とべ動物園	791-2191	愛媛県伊予郡砥部町上原町240	10				2	10	10	10		16
46 株式会社 池田動物園	700-0015	岡山県岡山市北区京山2-5-1	10				2	10	6	6		17
47 株式会社 なかやま牧場	720-2413	広島県福山市駅前町法成寺1575-16	10	20	40			10				18
48 有限会社 宇佐美牧場	799-1372	愛媛県西条市吉田145	10		40		2	10		2		19
49 株式会社 山田みつばち農園	708-0365	岡山県苫田郡鏡野町塚谷785-1	10		40		2	10				20
50 新開牧場	794-0082	愛媛県今治市野間甲958	10		40		2	10		2		21
51 株式会社 南予ビージョイ	798-0087	愛媛県宇和島市坂下津甲381番地91	10		40		2	10		2		22
52 愛媛県農業共済組合 東予家畜診療所	799-1312	愛媛県西条市大野379-1				12						23
53 愛媛県農業共済組合 松山家畜診療所	791-2112	愛媛県伊予郡砥部町重光457-1				6						
54 愛媛県農業共済組合 大洲家畜診療所	795-0064	愛媛県大洲市東大洲255				6						
55 愛媛県農業共済組合 南予家畜診療所	797-1211	愛媛県西予市野村町阿下6-247				24						
56 香川県農業共済組合 東部家畜診療所	761-0904	香川県さぬき市大川町田面王子1-6				1						25
57 香川県農業共済組合 中央家畜診療所	761-8083	香川県高松市三名町東原5-6				2						
58 香川県農業共済組合 中部家畜診療所	761-2401	香川県丸亀市綾歌町岡田上重永1596				2						
59 香川県農業共済組合 三豊家畜診療所	768-0022	香川県観音寺市本大町1378-12				2						
60 徳島県農業共済組合 本所 家畜診療所	770-8054	徳島県徳島市山城西2丁目74番地				12						27
61 高知県農業共済組合 中央家畜診療所(南国)	783-0001	高知県南国市日吉町2丁目1355-9				12						29
62 高知県農業共済組合 中央家畜診療所(佐川)	789-1201	高知県高岡郡佐川町甲1650-2				12						
63 高知県農業共済組合 高幡家畜診療所(四万十町)	786-0004	高知県高岡郡四万十町茂串町381-1				12						
64 岡山県農業共済組合連合会 生産獣医支援センター	709-3111	岡山県岡山市北区建部町福渡1000番1				6						31
65 岡山県農業共済組合連合会 南部家畜診療所	704-8126	岡山県岡山市東区西大寺浜915-1				6						
66 岡山県農業共済組合連合会 西部基幹家畜診療所	719-0303	岡山県浅口郡里庄町浜中93-269				6						
67 岡山県農業共済組合連合会 西部家畜診療所	716-0062	岡山県高梁市落合町近似267-29				6						
68 岡山県農業共済組合連合会 真庭家畜診療所	717-0023	岡山県真庭市江川794-1				6						

施設名	郵便番号	住所	獣医学科					獣医保健看護学科			ページ		
			動物関連キャリア概論	獣医公衆衛生学実習	動物衛生学実習	総合参加型臨床実習	獣医キャリアアスキルアップ研修	動物関連キャリア概論	獣医看護実務実習Ⅰ	獣医看護実務実習Ⅱ			
			1年次 人数	2年次 人数	3年次 人数	5年次 人数	5年次 人数	1年次 人数	3年次 人数	3年次 人数			
69 岡山県農業共済組合連合会 蒜山家畜診療所	717-0503	岡山県真庭市蒜山富山根301-5				6							31
70 岡山県農業共済組合連合会 北部基幹家畜診療所	708-0843	岡山県津山市国分寺8番9				6							
71 広島県農業共済組合 東広島家畜診療所	739-2106	広島県東広島市高屋町稲木284-1				12							33
72 広島県農業共済組合 北広島家畜診療所	731-1531	広島県山県郡北広島町春木461-1				12							
73 広島県農業共済組合 府中家畜診療所	729-3421	広島県府中市上下町深江396-1				12							
74 広島県農業共済組合 庄原家畜診療所	727-0013	広島県庄原市西本町2丁目21-20				6							
75 広島県農業共済組合 三次家畜診療所	728-0013	広島県三次市十日市東3丁目6-36				6							
76 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター・アルツハイマー病研究部 病因遺伝子研究室	474-8511	愛知県大府市森岡町7-430					2						35
77 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター・アルツハイマー病研究部 発症機序解析研究室	474-8511	愛知県大府市森岡町7-430					2						36
78 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室	474-8511	愛知県大府市森岡町7-430					2						37
79 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老化機構研究部・代謝研究室	474-8511	愛知県大府市森岡町7-430					2						38
80 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老化機構研究部・免疫研究室	474-8511	愛知県大府市森岡町7-430					2						39
81 国立研究開発法人水産研究・教育機構 増養殖研究所 魚病研究センター	516-0193	三重県度会郡南伊勢町中津浜浦422-1					2						40
82 国立研究開発法人水産研究・教育機構 増養殖研究所 魚病診断・研修センター	516-0193	三重県度会郡南伊勢町中津浜浦422-1					2						
83 富士フイルムモノリス株式会社 先進検査センター第3ラボ	185-0013	東京都国分寺市西恋ヶ窪1-49-18					2						41
84 富士フイルムモノリス株式会社 先進検査センター第1ラボ、第2ラボ、第3ラボ	185-0013	東京都国分寺市西恋ヶ窪1-49-18								6			42
85 株式会社ケー・エー・シー 生物科学センター	520-3001	滋賀県栗東市東坂91					2			2			43・44
86 広島市安佐動物公園	731-3355	広島県広島市安佐北区安佐町動物園					2						45
87 宮崎市フェニックス自然動物園 飼育課	880-0122	宮崎県宮崎市大字塩路浜山3083-42					2						46
88 岩手サファリパーク 飼育部	029-3311	岩手県一関市藤沢町黄海字山谷121-2					2						47
89 東北サファリパーク 飼育部	964-0088	福島県二本松市沢松倉1番地					2						48
90 那須サファリパーク 飼育部	325-0303	栃木県那須郡那須町高久乙3523					2						49
91 那須ワールドモンキーパーク 飼育部	325-0001	栃木県那須郡那須町高久甲6146					2						50
92 愛媛県愛南町水産課	798-4196	愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420番地					2						51
93 有限会社まる阿水産 生産部開発課	794-2410	愛媛県越智郡上島町岩城4472					2						52
94 岡部株式会社海洋事業部 応用藻類学研究所	684-0404	島根県隠岐郡海士町大字福井1467					2						53
95 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属水産実験所	431-0214	静岡県浜松市西区舞阪町弁天島2971-4					2						54
96 広島県安芸高田市 エコミュージアム川根自然博物館部門	739-1801	広島県安芸高田市高宮町川根1973					2						55
97 三次市農業交流連携拠点施設 トレッタみよし	728-0023	広島県三次市東酒屋町438					2						56
98 公益社団法人 福山観光コンベンション協会 福山市立動物園	720-1264	広島県福山市芦田町福田276-1					2						57
99 認定特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター 調査研究部	785-0023	高知県須崎市下分乙470-1 新荘公民館内					2						58
100 Taipei Zoo		No.30,Sec.2,Xinguang Rd., Wenshan Dist., Taipei City 11656,Taiwan, R.O.C.					2						59
101 下関市立しものせき水族館 展示部海獣展示課又は魚類展示課	750-0036	山口県下関市あるかぼーと6番1号					2			2			60・61
102 株式会社新日本科学 鹿児島本店 安全性研究所	891-1394	鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438番地					2						62

施設名	郵便番号	住所	獣医学科					獣医保健看護学科			ページ		
			動物関連キャリア概論	獣医公衆衛生学実習	動物衛生学実習	総合参加型臨床実習	獣医キャリアアスキルアップ研修	動物関連キャリア概論	獣医看護実務実習Ⅰ	獣医看護実務実習Ⅱ			
			1年次 人数	2年次 人数	3年次 人数	5年次 人数	5年次 人数	1年次 人数	3年次 人数	3年次 人数			
103	鳥羽水族館 飼育研究部	517-8517	三重県鳥羽市鳥羽3丁目3-6					2					63
104	神戸市立 王子動物園 動物園内動物病院	657-0838	兵庫県神戸市灘区王子町3-1					2					64
105	東京大学大学院農学生命科学研究科附属牧場	319-0206	茨城県笠間市安居3145					2					65
106	一般社団法人 予防衛生協会 試験検査部	305-0003	茨城県つくば市桜一丁目16番2					2					66
107	公益財団法人日本モンキーセンター 動物園部	484-0081	愛知県犬山市官林26					2					67
108	公益社団法人 日本食品衛生協会 本部	150-0001	東京都渋谷区神宮前2-6-1					2					68
109	公益社団法人 日本食品衛生協会 食品衛生研究所	194-0035	東京都町田市忠生2-5-47					2					
110	株式会社 掛川花鳥園 運営管理部	436-0024	静岡県掛川市南西郷1517					2					69
111	富士花鳥園 バード部門	418-0101	静岡県富士宮市根原480-1					2					70
112	加茂株式会社 加茂荘花鳥園	436-0105	静岡県掛川市原里110					2					71
113	公益財団法人日本盲導犬協会 日本盲導犬総合センター	418-0102	静岡県富士宮市人穴381					2		2			72・73
114	株式会社江東微生物研究所 食品分析センター	963-0547	福島県郡山市喜久田町卸3-24					3					74
115	株式会社保健科学研究所 検査本部	240-0005	神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106番地					2		2			75・76
116	長崎バイオパーク 飼育展示課	851-3302	長崎県西海市西彼町中山郷2291番地1					2					77
117	谷口牧場	899-4461	鹿児島県霧島市国分上之段940					2		2			78・79
118	松江フォーゲルパーク 飼育部	690-0263	島根県松江市大垣町52					2					80
119	伊豆・三津シーパラダイス	410-0295	静岡県沼津市内浦長浜3-1					2					81
120	羽村市動物公園	205-0012	東京都羽村市羽4122番地					2					82
121	国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部	158-0098	東京都世田谷区上用賀1-18-1					2					83
122	沢村獣医科病院	283-0067	千葉県東金市東上宿6-37					2					84
123	りんごの樹動物病院	446-0053	愛知県安城市高棚町蛭田52-2					2					85
124	高橋ペットクリニック	816-0851	福岡県春日市昇町6-31					2					86
125	前田動物病院	728-0006	広島県三次市島敷町298					2					87
126	21世紀動物病院	739-0024	広島県東広島市西条町御園宇6091-11					2					88
127	(株)AMC末松どうぶつ病院	877-0011	大分県日田市中城町3-52					2					89
128	もりやま犬と猫の病院	463-0811	愛知県名古屋守山区深沢2-101					2					90
129	ルナ動物病院	514-0039	三重県津市押加部町11-3					2					91
130	松山 ほうじょう動物クリニック	799-2430	愛媛県松山市北条辻803-6					2		2			92・93
131	(有限会社)みなみ野動物病院	192-0916	東京都八王子市みなみ野4-33-5					2					94
132	瀬川動物病院	621-0851	京都府亀岡市荒塚町2-7-10					2					95
133	小塚獣医科病院	470-0153	愛知県愛知郡東郷町和合牛廻間172					2					96
134	ハムリー株式会社	306-0101	茨城県古河市尾崎2638-2					2		2			97・98
135	ひので動物クリニック	498-0031	愛知県弥富市平島町大脇4-1					2		2			99・100
136	キロロ動物病院	193-0801	東京都八王子市川口町925-8					2		2			101・102

施設名	郵便番号	住所	獣医学科					獣医保健看護学科			ページ	
			動物関連 キャリア 概論	獣医公衆 衛生学 実習	動物衛生 学実習	総合参加 型臨床 実習	アッ プ研 修	獣医 キャ リア アス キル	動物 関連 キャ リア 概論	獣 医 看 護 実 務 実 習 I		獣 医 看 護 実 務 実 習 II
			1年次 人数	2年次 人数	3年次 人数	5年次 人数	5年次 人数	1年次 人数	3年次 人数	3年次 人数		
137	伏見動物病院	321-4216	栃木県芳賀郡益子町塙1155					2		2	103・104	
138	ピジョン動物愛護病院 赤羽院	115-0055	東京都北区赤羽西1-31-11-217					2		2	105・106	
139	ピジョン動物愛護病院 川口院	332-0016	埼玉県川口市幸町3-10-1					2		2	107・108	
140	ピジョン動物愛護病院 鳩ヶ谷院	334-0002	埼玉県川口市鳩ヶ谷本町3-10-5					2		2	109・110	
141	ピジョン動物愛護病院 わらび院	333-0866	埼玉県川口市芝5-6-16					2		2	111・112	
142	浦安中央動物病院	279-0041	千葉県浦安市堀江2-29-8					2		2	113・114	
143	ぶる動物病院 小動物部門	899-6404	鹿児島県霧島市溝辺町麓1407-2					2		2	115・116	
144	ぶる動物病院 大動物部門	899-6404	鹿児島県霧島市溝辺町麓1407-2					2		2	117・118	
145	とうらい動物病院	158-0096	東京都世田谷区玉川台2-22-17					2			119	
146	株式会社NAS研究所 成田試験場	286-0212	千葉県成田市駒井野1885-2					2			120	
147	たばる動物病院	880-0925	宮崎県宮崎市大字本郷北方3112番地					2		2	121・122	
148	ふじしま動物病院	740-0032	山口県岩国市尾津町2丁目1番15号					2		2	123・124	
149	佐伯動物病院	745-0511	山口県周南市大字中須北419					2		2	125・126	
150	株式会社 拓牧	891-3101	鹿児島県西之表市西之表2079					2		2	127・128	
151	寺園動物病院	735-0029	広島県安芸郡府中町茂陰一丁目1-12					2		2	129・130	
152	株式会社武田家畜診療所	891-3101	鹿児島県西之表市西之表7522-3					2			131	
153	神戸どうぶつ王国	650-0047	兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-9					2			132	
154	那須どうぶつ王国	329-3223	栃木県那須郡那須町大字大島みどりヶ丘					2			133	
155	高知県立のいち動物公園	781-5233	高知県香南市野市町大谷738					2			134	
156	安田動物病院	663-8184	兵庫県西宮市鳴尾町5丁目8-12							2	135	
157	松枝牧場	193-0803	東京都八王子市檜原町1488							2	136	
158	ますみ犬猫病院	299-0261	千葉県袖ヶ浦市福王台4-1-1							2	137	
159	いそざき動物病院	799-0413	愛媛県四国中央市中曾根町5034							1		
160	セントラルシティ動物病院	799-0113	愛媛県四国中央市妻鳥町2014-1							1		
161	タカハシ動物病院	799-0113	愛媛県四国中央町妻鳥町2043-2							1		
162	高木動物病院	793-0035	愛媛県西条市福武甲814-3							1		
163	寺町動物病院	792-0833	愛媛県新居浜市宮原町9-34							1		
164	にいはま動物病院	799-0017	愛媛県新居浜市若水町2丁目1-11							1		
165	竹内動物病院	799-1351	愛媛県西条市三津屋107-5							1		
166	さいき犬猫病院	799-1353	愛媛県西条市三津屋南14-57							1		
167	あいけんペットクリニック	794-0005	愛媛県今治市大新田町3丁目4-18							1		
168	南動物病院	794-0064	愛媛県今治市小泉4丁目6-48							1		
169	善診堂	794-0063	愛媛県今治市片山4丁目2-1							1		
170	しまなみ動物病院	794-0063	愛媛県今治市片山1丁目4-28							1		

施設名	郵便番号	住所	獣医学科					獣医保健看護学科			ページ	
			動物関連キャリア概論	獣医公衆衛生学実習	動物衛生学実習	総合参加型臨床実習	獣医キャリアアスキルアップ研修	動物関連キャリア概論	獣医看護実務実習Ⅰ	獣医看護実務実習Ⅱ		
			1年次 人数	2年次 人数	3年次 人数	5年次 人数	5年次 人数	1年次 人数	3年次 人数	3年次 人数		
171	ほんぐう動物病院	794-0840	愛媛県今治市中寺950-4								1	138
172	こうの動物病院	791-8044	愛媛県松山市西垣生町254-6								1	
173	井手動物病院	791-1101	愛媛県松山市久米窪田町878-3								1	
174	中央動物病院	791-8015	愛媛県松山市中央2丁目1235-4								1	
175	やまと動物病院	791-8084	愛媛県松山市石風呂町甲905-1								1	
176	大山動物病院	796-0010	愛媛県八幡浜市松柏丙584-2								1	
177	千丈動物病院	796-8020	愛媛県八幡浜市郷4-363-1								1	
178	みやおか動物病院	797-0015	愛媛県西予市宇和町卯之町5丁目419-1								1	
合計			400	225	380	235	222	240	171			

別添資料として実習先の承諾書 139 ページ分を添付した。

岡山理科大学
獣医学部 獣医学科

総合参加型臨床実習

実習要項

〇〇〇〇年



学生番号

氏名

目 次

I.	獣医学部の教育	1
	1. 獣医学部の教育目的 2. 獣医学部獣医学科の教育目標 3. 獣医学部の教育方法	
II.	総合参加型臨床実習とは	2
	1. カリキュラムの中の位置づけ 2. 総合参加型臨床実習の目的 3. カリキュラムにおける総合参加型臨床実習の特徴	
III.	総合参加型臨床実習の履修要件	2
IV.	総合参加型臨床実習の単位認定	3
	1. 実習時間と単位の関係 2. 臨床実習の単位・配当年次と時期 3. 成績評価 4. 単位認定 5. 履修に関する重要事項	
V.	実習の方法	4
	1. 実習前準備 2. 受入施設等への事前連絡 3. 持ち物 4. 誓約書 5. 実習に協力を得られる動物の所有者への説明と同意について 6. 受け持ち制の実習について 7. オリエンテーション 8. 留意事項 9. 電子カルテシステムの使用に関する注意事項 10. 症例発表 11. 出席 12. 報告 13. 実習開始・終了時間ならびに実習日程	
VI.	実習記録	8
	1. 実習日誌の記載方法 2. 実習日誌及びメモの取り扱い 3. 実習終了報告書	
VII.	実習上のマナー等	10
	1. 臨床実習における基本的マナー 2. 動物の所有者との関わりでの留意事項	
VIII.	実習施設への交通機関	11
IX.	傷害対策	11
X.	災害時等の留意事項	11
	1. 災害時の対応 2. 各災害時等における留意事項 3. 災害発生時等の大学の連絡窓口	
X I.	各状況時の対応	12
	1. 臨床実習における医療安全の確保 2. インシデント・アクシデント発生時の対応 3. 実習中の事故予防と獣医技術の水準 4. 感染に関わる事故 5. 物品の紛失・破損事故 6. 個人情報の流出・漏洩 7. 交通事故 8. 実習中の受傷時の対応 9. ハラスメント時の対応	
X II.	獣医師の倫理綱領	19

各種様式

I 獣医学部の教育

1. 獣医学部の教育目的

獣医学部は、獣医学、獣医看護学に関する知識及び技能を基盤として、実践的かつ応用的な教育を通して、高い生命倫理観と豊かな人間性、国際的視野を備え、ライフサイエンス分野の発展、及び動物とヒトの健康と福祉に貢献する人材の養成を目的とする。

2. 獣医学部獣医学科の教育目標

ライフサイエンス研究に必要な基礎的な知識と技能を有し、動物の研究成果をヒトの治療に繋げる新しい動きに対応できるトランスレーショナル・リサーチ分野で活躍できる人材を養成する。また、国内外の感染症防御や食の安全性を担うため、国際的な視野を有し、家畜越境感染症や人獣共通感染症の対策、及び危機管理対応に貢献する人材を養成する。さらに、ヒトと動物の疾病構造が類似していることに着目し、動物とヒトの相互に応用できる予防・診断・治療法の確立等、動物とヒトの創薬や医療機器等の開発に貢献する人材（医獣連携獣医師（One Medicine Veterinarian: OMV））を養成する。

3. 獣医学部の教育方法

教育目的・教育目標を具現化するために各獣医学において講義・演習・実習という教育方法を用いる。

Ⅱ 総合参加型臨床実習とは

1. カリキュラムの中の位置づけ

総合参加型臨床実習は、獣医学教育体系において実践を通じて倫理と科学的根拠に基づき、計画的に実践する基礎的能力を養い、追究する学修として位置づけられている。獣医学教育モデル・コア・カリキュラムの最終段階となる重要な科目である。

2. 総合参加型臨床実習の目的

実際の診療技能と臨床的知識をつけることを最終目標に、主に双方向の実習形態をとり、動物の所有者とのコミュニケーション方法や、インフォームド・コンセント、獣医療の安全性確保等の重要性について十分理解し、教員の同伴もしくは指導下で、臨床例に対する基本的な診療行為を実施する。

3. カリキュラムにおける総合参加型臨床実習の特徴

1) 十分な学習準備および実習後の学びの深化拡大と共有化

実際に動物（患畜）に接する前までに、基本的獣医学知識・技能・動物所有者との基本的なコミュニケーション能力を確実に修得している必要がある。よって、4年次秋学期で実施される獣医学共用試験の合格が実習参加の前提となる。実習は、6～7人で1グループを形成し、内科、外科、再生移植／行動麻酔、病理／臨床検査、家畜衛生／魚病診断、産業動物診断をローテーションで巡る。

2) 実践を通して、学内学習の検証と獣医学の特質の追究

学生は、学内で学んだことを、実践を通して検証するに当たり、実習の目的にそって、自己の実習目標を設定し実習に臨む。学生は、自己学習を行った後、主体的に実習に臨み、大学の実習指導教員と実習施設の実習指導者の双方から指導を受ける。実習の終了後には、実習終了報告書を提出するとともに、症例報告をまとめ、発表を行う。

5年次春1学期で全員が総合参加型臨床実習を受けたのち、春2学期以降に各自の興味に応じて、学外の動物病院、研究施設、家畜衛生保健所等へインターンに赴く（獣医キャリアスキルアップ研修）。

Ⅲ.総合参加型臨床実習の履修要件

1) 4年次秋学期で実施される獣医学共用試験に合格していること。

2) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険 C コース（医学賠）に加入していること。

3) 実習前に日本国外にいた場合、帰国後二週間を経過していること。

IV. 総合参加型臨床実習の単位認定

1. 実習時間と単位の関係

実習においては 45 時間の学修をもって1単位とする。

2. 総合参加型臨床実習の単位・配当年次と時期

実習名	単 位 数	時 間 数	◎ / ○	5年次 (春学期)	
				春1	春2
総合参加型臨床実習	6	270	◎	←————→	

◎…必修科目、○…選択科目

3. 成績評価

1) 評価は、シラバスに記載された評価基準に従う。科目の担当教員が評価する。

総合参加型臨床実習：

各診療科において診療に参加した症例について作成した実習日誌(20%)、週間レポート(20%)、実習終了報告書(30%)および症例発表(30%)の内容を成績評価する。総計で60%以上を合格とする。

2) 評価は、表に示すように、S、A、B、C、D、Eをもって表記する。

評価	成績値 (Grade Point)	判定	評点
S(秀)	4点	単位認定	90~100点
A(優)	3点	単位認定	80~89点
B(良)	2点	単位認定	70~79点
C(可)	1点	単位認定	60~69点
D(不可)	0点	単位不認定	0~59点
E	0点	単位不認定	出席回数不足又は最終試験を未受験

4. 単位認定

1) 各実習単位認定は、成績評価S、A、B、Cとする。

2) 単位認定の時期は、各実習終了後に行う。

5. 履修に関する重要事項

総合参加型臨床実習の評価が、DまたはEの場合は、当該年度内において再度履修することはできない。よって、修業年限での卒業はできない。

V. 実習の方法

1. 実習前準備

- 1) 実習開始までには、実習に必要な自己学習・図書の借用等の準備を整えておくこと。
- 2) 実習前には体調を整え、感染症予防に留意すると共に、感染症に罹患したと考えられる場合は、速やかに実習指導教員に連絡をする。

2. 受入施設等への事前連絡

総合参加型臨床実習の場合は、受入施設への事前連絡は大学より行う。

3. 持ち物

1) 日用品

日常衣服、身の回りの品、健康保険証、その他受入先から指示されたもの

2) 実習用品

(1) 教育動物病院

白衣、長靴、聴診器、その他受入先から指示されたもの

(2) NOSAI

繋ぎ作業服、長靴（受入先から指定の場合あり）、その他受入先から指示されたもの

(3) 家畜保健衛生所、水産試験場等

受入先から指示されたもの

4. 誓約書

受入先からの指示事項を守り、万一受入先や動物飼育施設等に損害を及ぼした場合は、弁済する旨の誓約書（参考様式 1）を、実習開始前に受入先に提出する。

5. 実習に協力を得られる動物の所有者への説明と同意について

実習は、当該動物所有者（動物の所有者）の協力の下に行われる。動物の所有者には、学生が診療を実施することの同意を得て行う。動物の所有者への説明（参考様式 2）は、実習受け入れ施設側と大学側が双方で行う。実習指導教員は、実習受け入れ施設側より、学生が診療を実施することについての同意を、文書等で得られた動物の所有者の提示を実習前に受ける。

6. 受け持ち制の実習について

動物の診療を受け持つ実習を行う場合には、対象となる動物を実習指導教員が配分する。ただし、目標達成のために、自分の受持ち対象動物以外の診療にも参加する機会が与えられる。

受持ち動物制により実習を行う場合は、実習指導教員ならびに担当獣医師の指導を受けながら実習を行う。学生は、実習で行える技術水準項目を意識して実習に臨む。技術や手順が不明な点があれば事前に調べ、実習指導教員の指導を受ける。

7. オリエンテーション

学生は学科で計画されている実習のオリエンテーションに参加し、本実習の学習目的、実習方法について理解し、自己の学習課題を明確にし、学習に取り組む。

8. 留意事項

以下の事項は学生が実習中に特に留意しなければならない。

- 1) 日々の実習開始に当たっては、実習開始前に実習内容に関し実習指導教員と共有を図り、許可を得て行う。
- 2) 学生は、常に生命倫理及び動物福祉に配慮する。(XⅡ. 獣医師の倫理綱領 参照)
- 3) 学生は、診療行為を実践するに当たり、実習指導教員の許可を得ると共に、常に動物の所有者の同意を得て行う。
- 4) 実施に当たっては、指導の下行う・参加する等、実施に当たっての自立のレベルを実習指導教員・担当獣医師に確認して行う。(表1. 許容されうる診療行為 参照)
- 5) 実習後に日々の実習状況を実習指導教員と協議する。
- 6) 学生は、積極的に指導を受ける。
- 7) 学生は、実習を有意義な学習とするために自主的・主体的に行動をとる。

9. 電子カルテシステムの使用に関する注意事項

- 1) 電子カルテシステム用 ID は、期間内有効な個人 ID を配布する。
- 2) クライアントおよび患者動物情報へのアクセスや情報の入力にはできず、カルテ閲覧のみ可能である。
- 3) プリントアウトした個人情報の入った書類はシュレッダーにかける。

10. 症例発表

1) 目的

症例発表会の目的は、学生相互の体験・学びの共有化、学生個々の思考の整理、他者の意見から学生自身の思考を深化・拡大することである。加えて、他者の意見と自己の意見との相違点・類似点を見出し、他者の意見を聞く・自らの意見を効果的に理解に導く等の専門職としてのコミュニケーション技術を身に付けることでもある。

2) テーマ（症例）の選定

- (1) 各実習の実習期間中の学習過程に合わせ、少なくとも1グループ1症例を選定する。
- (2) 各実習の実習目標に応じ、症例を選定する。
- (3) 個々の学生の体験が共有できるテーマを選定する。

3) 発表

総合参加型臨床実習4週目で症例発表の候補症例を選定して検討を加え、7週目までに発表症例を確定する。最終週に検討結果を発表する。発表順は別途掲示する。

1 1. 出席

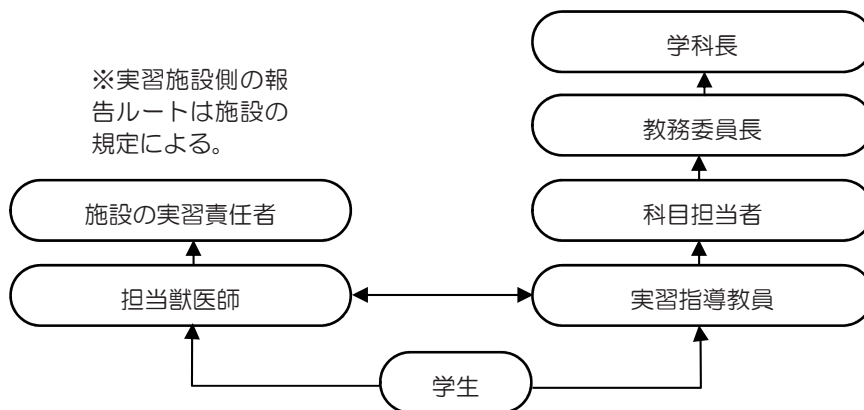
臨床実習は、実習施設はもとより、動物の所有者の協力なしには成立しない。動物診療という行為は、動物及びクライアントとの信頼関係を基盤に行われる専門的な活動である。対象との信頼関係を重視した参加態度が求められる。

やむを得ない理由で、欠席・遅刻・早退する場合は、実習指導教員に速やかに連絡・報告する。

1 2. 報告

1) 学生の報告ルートは、下図を参照すること。

2) 実習中の緊急を要する情報は、実習施設の実習責任者及び担当獣医師、あるいは実習指導教員に速やかに報告する。



1 3. 実習開始・終了時間ならびに実習日程

1) 実施日程

- ① オリエンテーション：4/〇 〇時から小動物、〇時から産業動物
- ② 診療科、外部実習施設ローテーション（前半）：4/〇～5/〇
- ③ 症例発表のテーマ選定と講演会
- ④ 診療科、外部実習施設ローテーション（後半）：5/〇～6/〇
- ⑤ 症例発表会：6/〇

2) ローテーションの開始時間

基本的に8時50分、ただし各診療科、実習施設の指示に従う。

3) ローテーション

1週ごとに内科、外科、画像診断、腫瘍/麻酔、病理/臨床検査、産業動物を回る。班分けは、別途掲示する。

	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目	
1班	画像診断	産業動物	病理/臨床検査	前半部の実習のまとめと症例発表のテーマ選定及び関連する講演視聴(座学)	腫瘍/麻酔	外科	内科	症例発表	
2班									
3班									
4班									
5班	内科	画像診断	産業動物		腫瘍/麻酔	病理/臨床検査	腫瘍/麻酔		外科
6班									
7班									
8班									
9班	外科	内科	画像診断		腫瘍/麻酔	産業動物	病理/臨床検査		腫瘍/麻酔
10班									
11班									
12班									
13班	腫瘍/麻酔	外科	内科		画像診断	産業動物	病理/臨床検査		腫瘍/麻酔
14班									
15班									
16班									
17班	病理/臨床検査	腫瘍/麻酔	外科		腫瘍/麻酔	産業動物	画像診断		産業動物
18班									
19班									
20班									
21班	産業動物	病理/臨床検査	腫瘍/麻酔		腫瘍/麻酔	外科	内科		画像診断
22班									
23班									
24班									

4) 内容

- ① 内科: 内科診療科の診療に参加する。
- ② 外科: 外科診療科の診療に参加する。
- ③ 腫瘍・麻酔: 腫瘍、診療科の診療に参加する。
- ④ 病理・臨床検査: 細胞診、生検材料診断、臨床検査、医療統計等学ぶ。
- ⑤ 産業動物: 産業動物診療科または NOSAI が実施する家畜診療に参加する。
- ⑥ 画像診断: 画像診断の実際を学ぶ。

VI. 実習記録

1. 実習日誌の記載方法

- 1) 実習日誌は、原則として手書きで記載する。ただし、科目の担当教員の指示があるものはパソコン等を使用して記載することができる。
- 2) 実習施設の診療記録の記載は行わない。

2. 実習日誌及びメモの取り扱い

1) 実習日誌様式

実習毎に指定された記録様式（参考様式3）を用いる。

2) 実習中の記録物の扱い

- (1) 実習専用のファイルに綴じ、学生各自で責任を持ち、不用意に人の目に触れないようにする。
- (2) 実習施設内では、実習日誌を所定の場所に保管し、持ち歩かない。
- (3) 施設内の移動時には、記録はファイルに綴じ、ファスナーのついた袋に入れ、散逸しないようにする。
- (4) 日々の実習終了時に学生控室を出るときは、記録一式が揃っているか確認する。
- (5) 通学途中で実習日誌の出し入れはしない。
- (6) 記録を入れたバッグなどは常に身につけ、電車の網棚に置く、自転車の籠に入れる等の置き忘れに結びつく行為は行わない。
- (7) 置き引きや自家用車内での盗難に十分注意する。

3) 個人情報を考慮した記載の厳守

- (1) 個人情報保護・秘密厳守のために、対象動物、動物の所有者の住所（連絡先含む）、動物の所有者名、病院（施設）名、病棟名など、対象者の特定につながる情報は、記載しない。記載が必要な場合は、表の個人情報を考慮した記載例を参照する。

項目	記載例
日付	記載可
住所	××市 TEL は不可
氏名	〇〇氏 苗字のみ
患者動物名	英略字
年齢	〇歳
種類	英略字
性	記載可 M, F, CM, SF
疾患名	TR（英略字）
紹介病院（施設）・病棟名	記載しない

- (2) 学生氏名は、記号を記載する。
- (3) 連絡先となりうる情報は、診療録、獣医記録より写し取らない。
- (4) 実習施設の住所、病院（施設）名も個人の特定につながるため、記載しない。
- (5) 学習をすすめるうえで必要不可欠な情報のみを収集する。
- (6) 記録の下書きや書き損じ、不要となった記録などは、速やかにシュレッダーにかける、持ち歩いたり捨てたりしない。

4) 提出方法

- (1) 実習日誌及びメモは、原則として、実習毎に指示された日時までに指示された方法で提出する。
- (2) メモは提出後ただちに実習指導教員の立会いのもと、シュレッダーによる裁断処理を行う。

5) 提出した実習記録の保管方法

提出した実習日誌のうち対象の個人情報を含み学生に返却しない記録は、鍵のかかる場所で当該学生が卒業するまで保管され、その後大学が処分する。

6) 閲覧

学生から申し出があった場合、その理由により、実習指導教員の立ち会いのもと実習日誌の閲覧を認める。

7) 複写

実習日誌の複写は実習指導教員の指示がある場合以外は行わない。

- (1) 指示や許可があった場合のみ、大学内及び実習施設内の指示された場所で行う。
- (2) コピーをした時は、原紙及びコピーした枚数（ミスプリントも含む）が全て揃っているかその場で確認する。

8) 写真等の無断撮影とネット掲載の禁止

- (1) 施設、人物、動物、機器等の写真や動画撮影は、担当獣医師や動物飼育者等の許可を得て行う。
- (2) 撮影した写真等を学会の実習報告及び提出レポートで使用したい場合はそのことについても承諾を得る。
- (3) 撮影の承諾を得た動画・写真であっても、ホームページ、ブログ、SNS (facebook、twitter、mixi、LINE 等)、共有サイト等に掲載することは、限られたネット環境であっても禁止する。

9) SNSへの情報流出・漏洩があった場合

- (1) 発見した場合、学生は、実習指導教員、担当獣医師に報告するとともに、直ちに書き込みを中止・削除する。必要時、施設の実習責任者に報告する。

(2) 当該学生は実習指導教員の指示に従う。

10) 実習日誌の置き忘れ、紛失、盗難した場合

学生は、実習指導教員、担当獣医師に報告し、必要時、施設の実習責任者に報告して指示を受ける。

3. 実習終了報告書

1) 実習終了報告書様式

実習ごとに指定された様式（参考様式 4）を用いる。

2) 提出方法

実習ごとに指定された日時までに指示された方法で提出する。

Ⅶ.実習上のマナー等

1. 臨床実習における基本的マナー

- 1) 規則的な生活習慣を心がけ、健康管理に心がける。
- 2) 時間管理を十分に行い、5分前行動をする。
- 3) 忘れ物が無いように、持ち物の早めの準備や確認を行う。
- 4) 報告、連絡、相談を適時行う。
- 5) 個人衛生に心がけ、爪は切り、ハンカチやティッシュを持つ。
- 6) 髪の毛は清潔にし、顔を覆ったり、肩にかかったりしないようにまとめる。
- 7) マニキュアや派手な化粧、香水、アクセサリ、カラーコンタクト、睫のエクステンション等はしてはならない。
- 8) 使用した物品は必ず元に戻す。
- 9) 原則清潔な白衣を着用する。スクラブを着用している場合、必ず上に白衣を羽織る。
- 10) 言葉づかいは、相手に敬意を払った丁寧な口調で話す。
- 11) 見学や実習時の行動は慎重に行い、粗雑や乱暴に行ってならない。
- 12) 誰にでも明るく挨拶を行い、返事や意見は的確に伝える。
- 13) 関係者と十分なコミュニケーションを取る。
- 14) 積極的に質問する。
- 15) 学生実習許容範囲とレベル（P13）を確認する。
- 16) 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにし、原則として、休憩時間以外は使用しないこと。

2. 動物の所有者との関わりでの留意事項

- 1) 動物の所有者からの依頼は、すべて指導教員または担当獣医師に連絡する。学生が単独で診療を実施することは絶対にしない。
- 2) 動物の所有者からの金品の提供があった場合もすべて速やかに実習指導教員、担当獣医師に連絡する。

3) 自分および他の学生の連絡先(住所、メールアドレス、電話番号等)は伝えない。

VIII. 実習施設への交通機関(学外施設の場合)

原則として、大学バスまたは公共交通機関を利用するが、実習施設により異なる場合があるため、オリエンテーション時の指示に従う。

IX. 傷害対策

- 1) 学生は学生教育研究災害障害保険(学研災)、学研災付帯賠償責任保険Cコース(医学賠)に加入する。学研災付帯賠償責任保険Cコース(医学賠)の補償は実習中および学校管理下の事故の定義に示した傷害事故、賠償事故、感染事故等の事故に対応している。
- 2) 賠償責任が生じた場合や感染が疑われた事態では、実習指導教員は科目責任者に連絡し、対応の依頼をする。学生は、実習指導教員に報告し、指示に従う。

X. 災害時等の留意事項

1. 災害時の対応

- 1) 実習施設毎にある災害時の対応を把握しておく。
- 2) 災害時には各実習施設の責任者の指示に従い、避難する。
- 3) 避難後は、実習指導教員に状況を連絡する。

2. 各災害時等における留意事項

1) 暴風警報または特別警報発令の場合

(1) 学生便覧の「緊急事態発生時の授業、試験の取扱い」に従う。

※今治市以外で暴風警報が発令された場合は、(1)に準じて行動し、実習指導教員へその旨を連絡する。

(2) 実習中止及び再開については、科目の担当教員から学生および実習施設への連絡を行う。

(3) 実習中に実習施設において警報発令がなされた場合、実習先の指示に従う。

2) その他の緊急事態の場合

学生便覧の「その他の緊急事態の場合」に従う。

3. 災害発生時等の大学の連絡窓口

日中の連絡先(9:00~17:00); 学生課または教務課のいずれか	学生課: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 教務課: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
夜間(9:00 以前及び 17:00 以降); 守衛室	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

X I .各状況時の対応

1. 臨床実習における医療安全の確保

自分自身、動物患者およびクライアントの医療安全の確保は最重要課題である。リスクマネジメントの手法（リスクの把握→リスクの分析→リスクへの対応→対応の評価）を用いて、クライアント・動物の所有者及び学生の安全を確保することが、獣医療の質の保証に貢献することになる。

2. インシデント・アクシデント発生時の対応

学生の実習中に想定される事故には、医療事故の他に、感染に関わる事故、セクシャルハラスメント、物品破損、個人情報の流出・漏洩、交通事故などがある。

1.学生の心身に危害が及ぶ可能性のあるもの
<ul style="list-style-type: none">・学生に針刺し事故が発生した場合・実習施設において感染症が発生し、学生に罹患の疑いがある場合・学生に自損、他損事故が生じた場合（実習施設への行き帰りを含む）・学生が対象動物などから危害を受けた、または受けそうになった場合・学生が動物の所有者などから危害を受けた、または受けそうになった場合（セクシャルハラスメントを含む）
2.学生が加害者となる可能性のあるもの
<ul style="list-style-type: none">・学生が対象動物などに害（転倒・転落、熱傷、誤薬、損傷等）を与えた、または与えそうになった場合・学生が感染症に罹患し、感染源となる可能性が生じた場合・実習施設の設備・備品、医療機器等の破損・紛失に関係した場合・学生が個人情報の保護を怠った場合（記録の紛失を含む）・学生が担当獣医師や実習指導教員の指導・助言を得ずに、自己判断で何らかの診療・医療行為を行った場合・学生が必要な報告（行った診療・医療行為の効果や学生が知り得た情報等）を怠った場合

1) 医療事故について

医療事故とは医療の全過程において発生するすべての事故のことである。過失があった場合（医療過誤）だけでなく、事故が予測不応あるいは回避不可能であった場合も含めていう。

2) 医療事故発生時の対応

＜インシデント・アクシデントが発生した場合＞

- ①クライアントに対する医療事故が発生した場合、学生は実習指導教員と担当獣医師に報告を行い、施設の実習責任者等に報告する。
- ②実習施設より施設の書類の記載を求められた場合は、その内容に応じて対処す

る。

③実習指導教員は、科目の担当教員・教務委員長・学科長・事務担当者に報告する。

3) 実習指導教員は、科目の担当教員・教務委員長・学科長に報告する。

3. 実習中の事故予防と獣医技術の水準

農林水産省は、「獣医学生の実習における獣医師法第 17 条の適用について」（平成 22 年 6 月 30 日付）のなかで、「臨床実習における獣医学生の実習行為については、その目的・手段・方法が、社会通念からみて相当であり、獣医師の実習行為と同程度の安全性が確保される限度であれば、基本的に違法性はないと解することができるものとする。」との見解を示している。その上で、学生が臨地実習で獣医療行為を実施するにあたっては、対象動物及び学生の安全のために、次のような条件を整える必要がある。

- 1) 動物福祉、安全性の確保を最優先とし、動物の所有者に対して事前に十分な説明を行い、同意を得て実施する。
- 2) 獣医療技術の実施にあたっては、表 1 の臨地実習において学生が行う基本的な獣医療技術の水準を参考に、実習指導教員、担当獣医師による適切な指導・助言のもとに行う。

表1 許容されうる診療行為

レベル1：実習指導教員、担当獣医師の指導・監督の下に実施が許容されるもの

レベル2：実習指導教員、担当獣医師の指導・監視の下に実施が許容されるもの

レベル3：原則として実習指導教員、担当獣医師の実施の見学にとどめるもの（1、2以外のもの）

項目	レベル1	レベル2	レベル3
診察	問診 全身の視診、打診、聴診 診療補助具の使用：体温計、耳鏡など 動物の保定	鎮静・鎮痛	左記以外
検査	心電図 検眼、視力、聴力 歩様 超音波 単純X線撮影 CBC 血液生化学検査 血液ガス その他非侵襲性の検査	関節稼働検査 直腸検査 造影X線撮影 透視 CT撮影 CT造影 内視鏡	左記以外
検体採取	静脈採血 採尿：圧迫排尿、カテーテル導尿のうち難易度の低いもの	動脈採血 皮膚搔爬 針吸引：膿疱や体表の腫瘍	左記以外
治療	薬用量の計算 投薬：経口、皮下 創傷処置（経度） 抜糸 術野の剃毛、消毒 局所消毒・洗浄 外用薬塗布・包帯交換	留置針設置 筋肉・静脈内投与 創傷処置（重度） 歯石除去 耳洗浄 浣腸 手術助手 麻酔導入 麻酔管理 皮下織・皮膚縫合 鼻・胃・尿カテーテル設置 術後管理 ICU管理	左記以外
救急		バイタルチェック 酸素吸入 挿管 心臓マッサージ	左記以外
その他	カルテ記載の補助	カルテ記載 動物の所有者への疾病説明	左記以外

4. 感染に関わる事故

獣医学実習を行う獣医療現場は、常に感染源としての病原微生物が存在している恐れがある。学生が獣医療チームの一員に加わって実習を行う際、感染に関する知識をもち、感染予防策を熟知し、実行することが求められる。

その目的は、①自分自身を感染から守り、②他者を感染から守り、さらに③感染の拡大を予防することであり、それらは獣医療従事者としての責任である。実習中に病原微生物の汚染を受けて感染症を起こしたり、病原微生物あるいは汚染物の処理を無意識に行った

り、スタンダード・プリコーション「標準的予防策」を守らないなど、他者を感染の危険にさらす行為は、絶対に避けなければならない。

1) 実習中予想される感染に関わる事故

- (1) 針刺し事故 (2) 体液暴露 (3) 外傷・接触・飛沫・空気感染

2) 感染の可能性が高い対象

感染を予防するためには、感染の成立要因としての感染源、感染経路を熟知する必要がある。特に注意を要する対象は、以下に上げるものである。

(1) 血液、体液及びそれらの付着物など

動物の血液や体液は病原微生物が混在しているものとして取り扱う。

(2) 各種排泄物及び検体等

動物患者の排泄物やそれに汚染されたものはもちろん、健康動物からの検査用に採取された材料も注意を要する。

(3) 病原微生物に汚染された器材

クライアントの処置に用いたガーゼや包帯、鑷子やはさみ、検体採取に用いた注射器（特に注射針）、検体を入れた試験管等も危険である。

3) 感染に関わる事故発生時の対応

学生は速やかに実習指導教員、担当獣医師に報告し、担当獣医師から施設の実習責任者に報告された後、当該施設の感染対策に従って行動する。受診が必要と判断された場合は直ちに受診し、医師の指示に従う。

感染事故が確認された場合、科目の担当教員は、健康管理課に報告する。

※針刺し事故の初期対処は、以下のように実施する。

- (1) すぐ、血液をしぼりだす。
- (2) 刺した部位より上を駆血し、水道水で洗い流しながら血液をしぼりだす。
- (3) アルコールで刺した部位を消毒する。

4) 実習における感染予防のための対策

(1) 日常の健康管理を心がける。

- ①過労をさける。バランスのよい規則正しい食生活、身体の清潔、手指の外傷の予防等を行う。
- ②手洗いとうがいを励行する。
- ③自分の健診結果を知り、必要な行動をとる。

(3) 予防策の実施

①基本的な考え方

すべての血液・検体は潜在的に感染性があるため、感染症の有無に関わらず、スタ

ンダード・プリコーションについて理解し、実行することが重要である。

表2 スタANDARD・プリコーション

クライアントの血液、体液、分泌物、排泄物等で衣服が汚染される可能性がある場合、ガウンやプラスチックエプロンを着用する。
飛沫感染が起こりうる時にはマスクやゴーグルを着用する。
血液、体液、分泌物、排泄物等に接触する時には手袋を着用し、使用後には手洗いを する。
血液、体液、分泌物、排泄物等に触れた後は手袋の着用に関わらず日常的手洗いを する。

②実習中の感染予防における留意点

- 白衣は清潔なものを着用する。
- 手指の清潔では、爪は短く、手指の手入れ、手洗いを励行する。
- うがいを励行し、健康管理を心がける。
- 必要時マスクを装着する。

5. 物品の紛失・破損事故

1) 物品の紛失・破損事故とは

故意または過失の有無を問わず、施設やクライアントの所有財産に損害を与えた場合のことである。

2) 施設所有物の場合

- (1) 学生は速やかに、実習指導教員、担当獣医師または施設の実習責任者へ報告する。
- (2) 賠償責任を負う必要がある場合は、学生課への連絡を指示し、保険適応について相談する。
- (3) 当該施設書類の記載を求められた場合は、所定の記録に記入する。

3) 動物の所有者（クライアント）の所有物の場合

- (1) 指導教員・担当獣医師にただちに報告する。
- (2) 賠償責任を負う必要がある場合は、指導教員が学生課へ報告する。
- (3) 当該施設書類の記載を求められた場合は、所定の記録に記入する。

6. 個人情報の流出・漏洩

1) 法令より

「個人情報」とは、個人情報保護法においては「生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができること）をいう。

2) 個人に関する情報とは

氏名、性別、生年月日等個人を識別する情報に限られず、個人の身体、財産、職種、肩書き等の属性に関して、事実、判断、評価を表すすべての情報であり、評価情報、公刊物等によって公にされている情報や、写真・映像・音声による情報も含まれ、暗号化されているか否かを問わない。また、診療録には獣医師が行った判断や評価が書いてある物もあり、獣医師個人の情報ともいうことができる。したがって、診療録等に記載されている情報の中には、クライアントと獣医師等双方の個人情報という二面性を持っている部分もあることに留意が必要である。なお、死んだ動物に関する情報が、同時に、遺族等の生存する個人に関する情報でもある場合には、当該生存する個人に関する情報となる。

3) 個人情報の流出・漏洩

個人情報の流出・漏洩とはその情報が記録やメモあるいは口頭、SNS等で、保護されるべき場所から他に漏れることである。実習における流出・漏洩の具体的例は、公の場での会話、SNSへの書き込み・つぶやき、実習記録用紙類（メモを含む）の置き忘れ、紛失、盗難等を指す。

個人情報の取り扱いに関する法律・規定は、表3のとおりである。

表3) 個人情報の取り扱いに関する法律・規定

<p>個人情報の保護に関する法律</p> <p>(基本理念)</p> <p>第3条 個人情報は、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることにかんがみ、その適正な取扱いが図られなければならない。</p> <p>(利用目的の特定)</p> <p>第15条 個人情報取扱事業者は、個人情報を取り扱うに当たっては、その利用の目的をできる限り特定しなければならない。</p> <p>(利用目的による制限)</p> <p>第16条 個人情報取扱事業者は、あらかじめ本人の同意を得ないで、前条の規定により特定された利用目的達成に必要な範囲を超えて、個人情報を扱ってはならない。</p>
<p>刑法</p> <p>(秘密漏示)</p> <p>第134条</p> <p>医師、薬剤師、医薬品販売業者、助産師、弁護士、弁護人、公証人又はこれらの職にあった者が、正当な理由がないのに、その業務上取り扱ったことについて知り得た人の秘密を漏らしたときは、6月以下の懲役又は10万円以下の罰金に処する。</p>

4) 情報流出・漏洩予防策

- (1) 自宅では、家族や近親者、友人等であっても実習で知り得た個人情報口外しない。
- (2) 実習施設内、学内であっても不特定多数が行きかう場所では取り扱わない。
- (3) 実習施設への行き帰りの交通機関や喫茶店、レストラン等の不特定多数の人が行きかう場所では、取り扱わない。
- (4) 実習施設により、個人情報保護に関する誓約書の提出を求められた場合、内容を良く理解し、誓約する。
- (5) 記録の管理について
 - ①記録用紙の取り扱いについて（Ⅵ 実習記録 2. 実習日誌の取り扱い）参照
 - ②記録紛失に気づいたときは、直ちに実習指導教員に報告し、対処について指示を受ける。
 - ③クライアントおよび動物患者に関する情報のうち、電子化されたデータは、実習終了後責任をもって消去しなければならない。

7. 交通事故

実習に関わる交通事故とは、実習先への通学及び帰宅途上にあるときや、実習中の移動、あるいは実習先の施設車両（公用車）に同乗していたときに遭遇した交通事故のことである。

1) 学生自身が事故の当事者として遭遇した交通事故

- (1) 学生は速やかに、実習指導教員、担当獣医師に状況、実習が継続できる状況であるか否か、今後の対応について報告し、実習指導教員の指示を受ける。
- (2) 通院、入院が必要な場合には、学生本人または指導教員から学生課に連絡する。

2) 実習中の施設車両（公用車等）に同乗していた場合の交通事故

- (1) 学生は速やかに、実習指導教員、担当獣医師に状況、実習が継続できる状況であるか否か、今後の対応について報告し、実習指導教員の指示を受ける。
- (2) 学生が通院、入院が必要な場合には、学生課に連絡する。

8. 実習中の受傷時の対応

- 1) 学生は実習中に外傷を受けた場合または疾患に罹患した場合は、実習指導教員、担当獣医師に直ちに報告し、指示に従う。
- 2) 実習指導教員は、科目責任者・教務委員長・学科長に報告する。

9. ハラスメント時の対応

学生便覧「ハラスメントの相談について」参照

X II .獣医師の倫理綱領

学生は、以下の獣医師の倫理綱領について確認し、実習に臨む。

獣医師の誓い-95 年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

- 1 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を 果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
- 2 人と動物の絆 ヒューマン・アニマル・ボンド を確立するとともに、平和な社会の発展と 環境の保全に努める。
- 3 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門 職としてふさわしい言動を心がける。
- 4 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、 関連科学との交流を推進する。
- 5 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の 獣医界の発展に努める。

各種様式

殿

岡山理科大学獣医学科 5 年生の（総合参加型臨床実習）を行うにあたり、特に以下の事項について保証人と連帯責任のもとに誓約いたします。

記

1. 貴組合（会）職員の指示に従って、規律ある行動をとります。これに違背した時は、実習を中止されても異議はありません。
2. 実習期間中に被った一切の事故（交通事故を含む）に係る損害についてはすべて私どもの負担とし、貴組合（会）には一切迷惑をかけません。
3. 貴組合（会）の施設、器具等を破損した場合は、私どもが弁済いたします。
4. 貴組合（会）の事務上機密に属する事項及び個人情報については、実習期間中及び実習終了後においても一切これを漏洩しません。

以上

年 月 日

岡山理科大学 獣医学科

住所

学生氏名

⑩

保証人住所

保証人氏名

⑩

緊急連絡先（保護者）

電話

氏名

様

岡山理科大学獣医学科 5 年生の総合参加型臨床実習にあたり、
年 月 日より 月 日までの間、診療の補助等をさせていただきたく
存じます。なお、学生の臨地実習では、以下の基本的な考え方で臨むことにしております。
獣医教育の必要性をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【説明内容】

1. 実習に参加する学生はすべて共用試験（獣医師としての基本的な事項ができることを確認する試験）に合格しないと実習には参加させません。
2. 学生が診療補助を行う場合、担当獣医師から事前に十分かつ分かりやすく説明を行い、同意を得てから行います。
3. 学生が診療援助を行う場合、安全性の確保を最優先とし、事前に獣医師の助言・指導を受け、技術を習得してから臨みます。
4. 学生の実習に関するご意見・ご質問がある場合、獣医師に直接尋ねることができます。
5. 臨床実習の説明に同意した後も、学生が行う診療援助に対して拒否や受け持ちの辞退をすることができます。いずれの場合でも、治療上において、なんら不利益が生じることはありません。
6. 学生は臨地実習を通して知りえた個人に関する情報について、実習以外の目的で使用することはありません。

年 月 日

実習施設名 _____

責任者氏名 _____

岡山理科大学 獣医学科

実習指導獣医師氏名（自筆署名） _____

学生氏名（自筆署名） _____

同意書

私は、上記の説明内容を理解し、学生の教育に協力することに同意いたします。

年 月 日

氏 名 _____

（動物の名前） _____

総合参加型臨床実習 実習日誌

学生番号		氏名	
実習場所			
実習期間	年	月	日 ~ 月 日 (日間)

各日の実習内容について記載してください。

第 日目	年 月 日 ()	担当獣医師：
診療内容	農家戸数 () 診療頭数 () 往診随行 手術見学 臨床検査 その他 ()	
主な症例 (症状、診断名、処置、気づいたこと等)		
担当獣医師の指導内容		

○総合参加型臨床実習 ローテーション表

	1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目					
1班	画像診断	産業動物	病理/臨床 検査	前半部の実習のまとめ と症例発表のテーマ選 定及び関連する講演視 聴(座学)	腫瘍/麻酔	外科	内科	症例発表					
2班													
3班													
4班													
5班	内科	画像診断	産業動物		病理/臨床 検査	腫瘍/麻酔	外科		症例発表				
6班													
7班													
8班													
9班	外科	内科	画像診断		産業動物	病理/臨床 検査	腫瘍/麻酔			症例発表			
10班													
11班													
12班													
13班	腫瘍/麻酔	外科	内科		画像診断	産業動物	病理/臨床 検査				症例発表		
14班													
15班													
16班													
17班	病理/臨床 検査	腫瘍/麻酔	外科		内科	画像診断	産業動物					症例発表	
18班													
19班													
20班													
21班	産業動物	病理/臨床 検査	腫瘍/麻酔		外科	内科	画像診断						症例発表
22班													
23班													
24班													

岡山理科大学
獣医学部 獣医学科

獣医キャリアスキルアップ研修

研修要項

〇〇〇〇年



学生番号

氏名

目 次

I.	獣医学部の教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	1. 獣医学部の教育目的 2. 獣医学部獣医学科の教育目標 3. 獣医学部の教育方法	
II.	獣医キャリアスキルアップ研修とは・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	1. カリキュラムの中の位置づけ 2. 研修の目的 3. カリキュラムにおける研修の特徴	
III.	獣医キャリアスキルアップ研修の履修要件・・・・・・・・・・・・・・・・	2
IV.	獣医キャリアスキルアップ研修の単位認定・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	1. 研修時間と単位の関係 2. 単位・配当年次と時期 3. 成績評価 4. 単位認定 5. 履修に関する重要事項	
V.	研修の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	1. 研修前準備 2. 受入施設等への事前連絡 3. 持ち物 4. 誓約書 5. 動物の所有者への説明と同意について 6. オリエンテーション 7. 留意事項 8. 研修報告会 9. 出席 10. 報告 11. 研修開始・終了時間ならびに研修日程	
VI.	研修記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	1. 研修日誌の記載方法 2. 研修日誌及びメモの取り扱い 3. 研修終了報告書	
VII.	研修施設への交通機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
VIII.	傷害対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
IX.	災害時等の留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
X.	獣医師の倫理綱領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

各種様式

I 獣医学部の教育

1. 獣医学部の教育目的

獣医学部は、獣医学、獣医看護学に関する知識及び技能を基盤として、実践的かつ応用的な教育を通して、高い生命倫理観と豊かな人間性、国際的視野を備え、ライフサイエンス分野の発展、及び動物とヒトの健康と福祉に貢献する人材の養成を目的とする。

2. 獣医学部獣医学科の教育目標

ライフサイエンス研究に必要な基礎的な知識と技能を有し、動物の研究成果をヒトの治療に繋げる新しい動きに対応できるトランスレーショナル・リサーチ分野で活躍できる人材を養成する。また、国内外の感染症防御や食の安全性を担うため、国際的な視野を有し、家畜越境感染症や人獣共通感染症の対策、及び危機管理対応に貢献する人材を養成する。さらに、ヒトと動物の疾病構造が類似していることに着目し、動物とヒトの相互に応用できる予防・診断・治療法の確立等、動物とヒトの創薬や医療機器等の開発に貢献する人材（医獣連携獣医師（One Medicine Veterinarian: OMV））を養成する。

3. 獣医学部の教育方法

教育目的・教育目標を具現化するために各獣医学において講義・演習・研修という教育方法を用いる。

Ⅱ 獣医キャリアスキルアップ研修とは

1. カリキュラムの中の位置づけ

獣医キャリアスキルアップ研修は、獣医学教育体系において実践を通じて倫理と科学的根拠に基づき、計画的に実践する基礎的能力を養い、追究する学修として位置づけられている。総合参加型臨床研修後に行う、将来の職域決定に重要な科目である。

2. 研修の目的

専門的な獣医分野において、実際の知識と技能を身につけることを最終目標に、指導教員の下で実践する。

3. カリキュラムにおける研修の特徴

1) 十分な学習準備および研修後の学びの深化拡大と共有化

本研修前には、獣医教育モデル・コア・カリキュラムが修了しており、基本的な獣医学知識・技能・基本的なコミュニケーション能力を修得して必要があるため、5年次初楽器で実施される総合参加型臨床研修を修了していることが研修参加の前提となる。研修は、基本的には、個人で行い、研修先の指導者が指導を行う。

2) 実践を通して、学内学習の検証と獣医学の特質の追究

学生は、学内で学んだことを、実践を通して検証するに当たり、研修の目的にそって、自己の研修目標を設定し研修に臨む。学生は、自己学習を行った後、主体的に研修に臨み、研修施設の研修指導者から指導を受ける。研修の終了後には、研修終了報告書を提出するとともに、研修報告をまとめ、発表を行う。

Ⅲ. 獣医キャリアスキルアップ研修の履修要件

1) 4年次秋学期で実施される獣医学共用試験に合格していること。

2) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険 C コース（医学賠）に加入していること。

3) 研修前に日本国外にいた場合、帰国後二週間を経過していること。

IV. 獣医キャリアスキルアップ研修の単位認定

1. 研修時間と単位の関係

研修においては 45 時間の学修をもって1単位とする。

2. 単位・配当年次と時期

科目名	単 位 数	時 間 数	◎ / ○	5年次 (春学期)	
				春1	春2
獣医キャリアスキルアップ研修	2	90	◎		

◎…必修科目、○…選択科目

※獣医キャリアスキルアップ研修については、研修受入先に人数制限がある場合、希望する施設に行けないことがある。

3. 成績評価

1) 評価は、シラバスに記載された評価基準に従う。科目の担当教員が評価する。

研修日誌 (20%)、研修先の評価 (30%)、週間および総合レポート (50%) の内容を成績評価する。総計で 60%以上を合格とする。

2) 評価は、表に示すように、S、A、B、C、D、Eをもって表記する。

評価	成績値 (Grade Point)	判定	評点
S (秀)	4点	単位認定	90~100点
A (優)	3点	単位認定	80~89点
B (良)	2点	単位認定	70~79点
C (可)	1点	単位認定	60~69点
D (不可)	0点	単位不認定	0~59点
E	0点	単位不認定	出席回数不足又は最終試験を未受験

4. 単位認定

1) 各研修単位認定は、成績評価S、A、B、Cとする。

2) 単位認定の時期は、各研修終了後に行う。

5. 履修に関する重要事項

獣医キャリアスキルアップの評価が、DまたはEの場合は、当該年度内において再度履修することはできない。

V. 研修の方法

1. 研修前準備

- 1) 研修開始までには、研修に必要な自己学習・図書の借用等の準備を整えておくこと。
- 2) 研修前には体調を整え、感染症予防に留意すると共に、感染症に罹患したと考えられる場合は、速やかに研修指導教員に連絡をする。

2. 受入施設等への事前連絡

獣医キャリアスキルアップ研修においては、研修先施設の内諾を得た段階で、ただちに「登録書」（参考様式1）及び「履歴書」（参考様式2）に必要事項を記入して担当教員に提出する。書類提出を受けてから研修先との事務手続きを行う。研修受入先に、研修開始2週間前までに連絡を取り、研修施設への到着時刻、交通手段、緊急連絡方法（携帯電話番号、メールアドレス等）等の必要事項を伝える。ただし、大学が個々の学生についてこれらの情報を把握し、受入先に報告する場合は、その限りでない。

3. 持ち物

1) 日用品

日常衣服、身の回りの品、健康保険証、その他受入先から指示されたもの

2) 研修用品

受入先から指示されたもの

4. 誓約書

受入先からの指示事項を守り、万一受入先や動物飼育施設等に損害を及ぼした場合は、弁済する旨の誓約書（参考様式3）を、研修開始前に受入先に提出する。

5. 動物の所有者への説明と同意について

獣医臨床施設での研修は、当該動物所有者（動物の所有者）の協力の下に行われる。動物の所有者には、学生が診療を実施することの同意を得て行う。動物の所有者への説明（参考様式4）は、研修受け入れ施設側と大学側が双方で行う。研修担当教員は、研修受け入れ施設側より、学生が診療を実施することについての同意を、文書等で得られた動物の所有者の提示を研修前に受ける。

6. オリエンテーション

学生は学科で計画されている研修のオリエンテーションに参加し、本研修の学習目的、研修方法について理解し、自己の学習課題を明確にし、学習に取り組む。

7. 留意事項

以下の事項は学生が研修中に特に留意しなければならない。

- 1) 日々の研修開始に当たっては、研修開始前に研修内容に関し研修指導教員と共有を図り、許可を得て行う。

- 2) 研修後に日々の研修状況を研修指導教員と協議する。
- 3) 学生は、積極的に指導を受ける。
- 4) 学生は、研修を有意義な学習とするために自主的・主体的に行動をとる。

8. 研修報告会

研修報告会は、学生相互の体験・学びの共有化、学生個々の思考の整理、他者の意見から学生自身の思考を深化・拡大を目的とする。

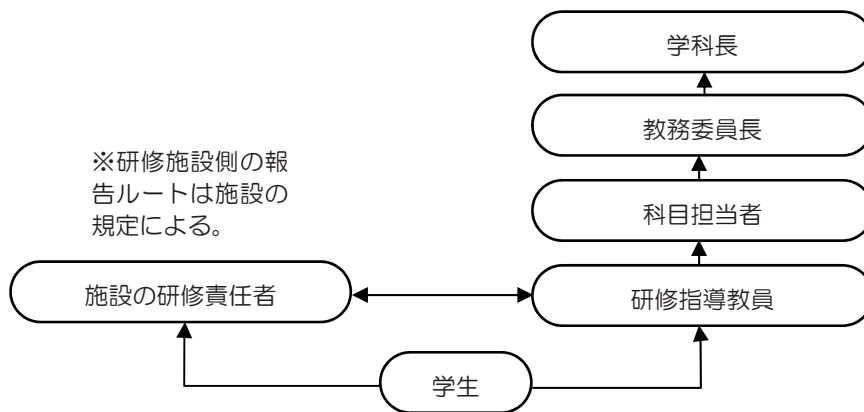
9. 出席

獣医スキルアップ研修は、学外施設で研修を行うことから、研修指導教員との信頼関係を基盤に行われる専門的な活動であり、信頼関係を重視した参加態度が求められる。

やむを得ない理由で、欠席・遅刻・早退する場合は、研修指導教員に速やかに連絡・報告する。

10. 報告

- 1) 学生の報告ルートは、下図を参照すること。
- 2) 研修中の緊急を要する情報は、研修施設の研修責任者あるいは研修指導教員に速やかに報告する。



11. 研修開始・終了時間ならびに研修日程

5年次春2学期の期間に2週間の研修を行う。

VI.研修記録

1. 研修日誌の記載方法

研修日誌は、原則として手書きで記載する。ただし、指導教員の指示があるものはパソコン等を使用して記載することができる。

2. 研修日誌及びメモの取り扱い

1) 研修日誌様式

研修毎に指定された記録様式（参考様式5）を用いる。

2) 研修中の記録物の扱い

(1) 研修専用のファイルに綴じ、学生各自で責任を持ち、不用意に人の目に触れないようにする。

(2) 研修施設内では、研修日誌を所定の場所に保管し、持ち歩かない。

(3) 施設内の移動時には、記録はファイルに綴じ、ファスナーのついた袋に入れ、散逸しないようにする。

(4) 日々の研修終了時に学生控室を出るときは、記録一式が揃っているか確認する。

(5) 通学途中で研修日誌の出し入れはしない。

(6) 記録を入れたバッグなどは常に身につけ、電車の網棚に置く、自転車の籠に入れる等の置き忘れに結びつく行為は行わない。

(7) 置き引きや自家用車内での盗難に十分注意する。

3) 研修記録の保管方法

研修記録については、各研修先の方針に従い、保管あるいは処分する。

4) 写真等の無断撮影とネット掲載の禁止

(1) 施設、人物、動物、機器等の写真や動画撮影は、担当指導教員等の許可を得て行う。

(2) 撮影した写真等を学会の研修報告及び提出レポートで使いたい場合はそのことについても承諾を得る。

(3) 撮影の承諾を得た動画・写真であっても、ホームページ、ブログ、SNS (facebook、twitter、mixi、LINE 等)、共有サイト等に掲載することは、限られたネット環境であっても禁止する。

5) SNSへの情報流出・漏洩があった場合

(1) 発見した場合、学生は、研修指導教員に報告するとともに、直ちに書き込みを中止・削除する。必要時、施設の研修責任者に報告する。

(2) 当該学生は研修指導教員の指示に従う。

6) 研修日誌の置き忘れ、紛失、盗難した場合

学生は、研修指導教員、担当獣医師に報告し、必要時、施設の研修責任者に報告し

て指示を受ける。

3. 研修終了報告書

1) 研修終了報告書様式

研修ごとに指定された様式（参考様式6）を用いる。

2) 提出方法

研修ごとに指定された日時までに指示された方法で提出する。

VII. 研修施設への交通機関

オリエンテーション時の指示に従う。

VIII. 傷害対策

1) 学生は学生教育研究災害障害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険 C コース（医学賠）に加入する。学研災付帯賠償責任保険 C コース（医学賠）の補償は研修中および学校管理下の事故の定義に示した傷害事故、賠償事故、感染事故等の事故に対応している。

2) 賠償責任が生じた場合や感染が疑われた事態では、研修指導教員は科目責任者に連絡し、対応の依頼をする。学生は、研修指導教員に報告し、指示に従う。

IX. 災害時等の留意事項

総合参加型臨床研修の研修要項をよく読み、参照すること。

X. 獣医師の倫理綱領

学生は、以下の獣医師の倫理綱領について確認し、研修に臨む。

獣医師の誓い-95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

- 1 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
- 2 人と動物の絆 ヒューマン・アニマル・ボンド を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。
- 3 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。
- 4 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。
- 5 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医界の発展に努める。

各種様式

(学生から大学へ提出)

(参考様式1) 登録書

研修施設登録書

フリガナ 氏名	印	学生番号	
生年月日 (年齢)	年	月	日 (歳) 男・女
フリガナ 住所	〒 — 携帯電話番号:		
フリガナ 緊急連絡先 (帰省先等)	氏名 本人との関係 () 〒 — TEL・FAX:		
フリガナ 滞在先	氏名/名称 本人との関係 () 〒 — TEL・FAX:		

フリガナ 研修先名称			
フリガナ 所在地	〒 — TEL・FAX		
フリガナ 代表者名	TEL・FAX		
フリガナ 担当部署 担当者名	TEL・FAX		
業務内容			
E-mail			
URL			
研修期間	(年 月 日 ~ 年 月 日 (時間))		
担当教員署名		実習の職種	

団体名	
志望理由（希望する団体等でなぜ実務実習を経験したいのか）	

自己PR（学生生活の中で熱心に取り組んでいることなど）	

（学生履歴書）

殿

岡山理科大学獣医学科5年生の獣医キャリアスキルアップ研修を行うにあたり、特に以下の事項について保証人と連帯責任のもとに誓約いたします。

記

1. 貴組合（会）職員の指示に従って、規律ある行動をとります。これに違背した時は、研修を中止されても異議はありません。
2. 研修期間中に被った一切の事故（交通事故を含む）に係る損害についてはすべて私どもの負担とし、貴組合（会）には一切迷惑をかけません。
3. 貴組合（会）の施設、器具等を破損した場合は、私どもが弁済いたします。
4. 貴組合（会）の事務上機密に属する事項及び個人情報については、研修期間中及び研修終了後においても一切これを漏洩しません。

以上

年 月 日

岡山理科大学 獣医学科

住所

学生氏名

⑩

保証人住所

保証人氏名

⑩

緊急連絡先（保護者）

電話

氏名

様

岡山理科大学獣医学科5年生の獣医キャリアスキルアップ研修にあたり、
年 月 日より 月 日までの間、診療の補助等をさせていただきたく
存じます。なお、学生の臨地研修では、以下の基本的な考え方で臨むことにしております。
獣医教育の必要性をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【説明内容】

1. 研修に参加する学生はすべて共用試験（獣医師としての基本的な事項ができることを確認する試験）に合格しないと研修には参加させません。
2. 学生が診療補助を行う場合、担当獣医師から事前に十分かつ分かりやすく説明を行い、同意を得てから行います。
3. 学生が診療援助を行う場合、安全性の確保を最優先とし、事前に獣医師の助言・指導を受け、技術を習得してから臨みます。
4. 学生の研修に関するご意見・ご質問がある場合、獣医師に直接尋ねることができます。
5. 臨床研修の説明に同意した後も、学生が行う診療援助に対して拒否や受け持ちの辞退をすることができます。いずれの場合でも、治療上において、なんら不利益が生じることはありません。
6. 学生は臨地研修を通して知りえた個人に関する情報について、研修以外の目的で使用することはありません。

年 月 日

研修施設名 _____

責任者氏名 _____

岡山理科大学 獣医学科

研修指導獣医師氏名（自筆署名） _____

学生氏名（自筆署名） _____

.....
同意書

私は、上記の説明内容を理解し、学生の教育に協力することに同意いたします。

年 月 日

氏 名 _____

(動物の名前) _____

獣医キャリアスキルアップ研修 研修日誌

学生番号		氏名	
研修場所			
研修期間	年 月 日 ~ 月 日 (日間)		

各日の研修内容について記載してください。

第 日目	年 月 日 ()	指導教員：
研修内容		
症例、検査方法、実験方法、気づいたこと等		
指導教官の指導内容		

